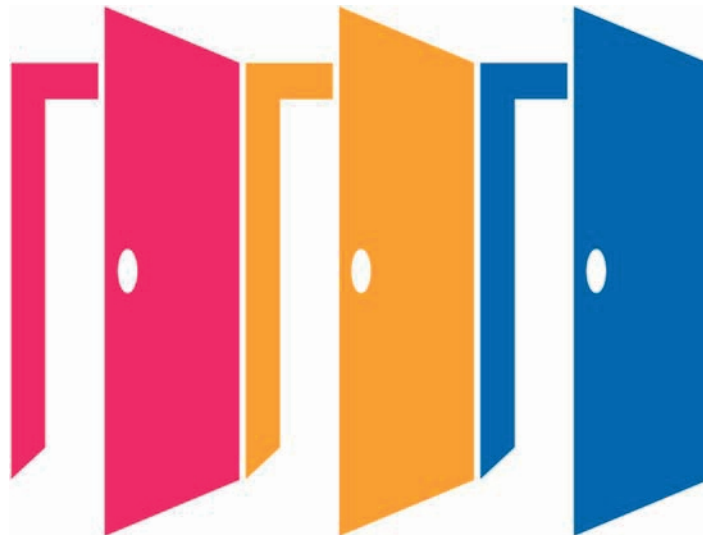




国際ロータリー第 2630 地区

2020-21 年度

ロータリー財団 補助金ガイドブック



ロータリーは機会の扉を開く

地区ロータリー財団委員会
2020年11月発行

はじめに

日頃はご寄付や補助金事業など 財団活動に積極的なご支援・ご協力をいただき誠にありがとうございます。

従来ですと年2回、まず7月のセミナーではロータリー財団の概容をご案内し、10月は寄付金と補助金事業に的を絞った補助金管理セミナーを開催しておりましたが、本年はご承知のようにコロナ禍の影響で両研修会共開催できず申し訳なく思っております。

そこで当委員会では例年ご出席いただく予定の クラブ会長、クラブ会長エレクト、ロータリー財団委員長 の皆さまに画像による「ロータリー財団研修セミナー」という部門全体で約60分のYouTube動画を作成致しました。

そしてそのダイジェスト版としまして約13分の「ロータリー財団ガイド」というYouTube動画も同時に作成しました(以下よりご視聴できます)。このダイジェストは、クラブの例会にもご活用いただき、会員皆さまお一人、お一人にロータリー財団の事業を少しでも身近に感じていただければありがたいと思います。

なお、作成にたずさわりました当委員会のメンバーは 私をはじめアナログ人間が多く慣れないZoom会議も含め 悪戦苦闘の連続でした。出来具合については不行き届きな部分が多いと思いますが、このガイドと合わせてご視聴をお願い申し上げます。

第2630地区ロータリー財団部門 委員長 平井 義之

YouTube ※下記アドレスからご視聴下さい。

ロータリー財団研修セミナー 全5編60分

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLvbHW4bBkf3Gjp4Ewu7yi-ZYi6KVwQH-N>

ダイジェスト版13分 ※クラブ卓話等でご活用下さい

<https://youtu.be/TjCAeGkrBJA>

目次

ロータリー財団について-----	3
1. はじまりは-----	3
2. ロータリー財団の使命-----	3
3. 財団の評価-----	3
ロータリー財団の新補助金制度-----	4
寄付金と補助金のフローチャート-----	5
クラブの参加資格認定：覚書（MOU）-----	5
ロータリー財団への寄付-----	6
補助金の種類-----	7
1. 地区補助金事業-----	7
2. グローバル補助金事業-----	7
3. ロータリー災害救援基金-----	7
4. V T T（職業研修チーム）-----	8
5. ロータリー財団奨学金・学友会-----	8
ロータリーのポリオ根絶活動-----	10
感謝の気持ちを表すための認証-----	12
ロータリーのクレジットカード-----	16
資料編	
1. 地区補助金・奨学金支給規定-----	18
2. 3年前の年次基金寄付額一覧(2018-19)-----	20
3. 地区補助金募集案内-----	22
4. 地区補助金申請一覧-----	24
5. 地区補助金申請書の書き方例-----	26
6. 地区補助金報告書の書き方例-----	29
7. 地区補助金申請書-----	31
8. 地区補助金最終報告書-----	34
9. 地区補助金奨学生募集要項-----	36
10. グローバル補助金・奨学金支給規定-----	39
11. グローバル補助金申請用 地区財団活動資金(D D F)使用申請書-----	41
12. グローバル補助金奨学生募集要項-----	43
13. グローバル補助金奨学生へのクラブの対応-----	46
14. クラブの参加資格認定：覚書(M O U)-----	50
15. アンケート（ロータリー財団研修(補助金管理)セミナー資格認定）-----	53

ロータリー財団について

100年以上も前に創立されて以来、ロータリー財団は教育の支援をはじめ人道奉仕プロジェクトに総額40憶ドル以上の資金を提供してきました。

一人ひとりのご寄付により世界中の地域社会を少しずつ変えていくことができます。

2019年会計年度は約2億8千万ドル《ポリオ根絶（151百万ドル）、グローバル補助金+地区補助金（113百万ドル）、ロータリー平和センター（5百万ドル）等》の資金が活用されました。

1. はじまりは

1917年、当時のRI会長アーチ・クランフが「世界でよいことをするための」基金の設置を提案。このビジョン、そして26ドル50セントの最初の寄付が全世界で多くの人々の人生を変える財団へと発展しました。



2. ロータリー財団の使命

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

非営利組織である当財団は、ロータリー会員をはじめ、より良い世界を築こうというビジョンを共有する財団支援者の方々からの自発的な寄付のみによって支えられています。

ご寄付はロータリー財団の補助金となり、助けを必要とする地域社会に持続可能な変化をもたらす活動に役立てられています。

3. 財団としての評価

ロータリー財団は昨年度、米国の慈善団体を評価する独立機関であるチャリティーナビゲーターより12年連続で最高評価となる4つ星を獲得しました。財団による寄付の使用、健全なガバナンスと開放性などが高く評価されました。



皆さまからのご寄付は 自分たちの住む街や地域はもちろん
世界各地での奉仕活動に活かされています

ロータリー財団の新補助金制度



現在のロータリー財団の補助金制度は「未来の夢計画」として2013-14年度より始まりました。

この補助金制度はロータリー会員からの年次基金寄付（E R E Y）を財源としているものです。

この制度の特徴は5つあります。

1 番目に、プログラムを簡素化して申請手続きや管理事務を分かり易くしました。寄付金が補助金になるまでのお金の流れを明確にしました。

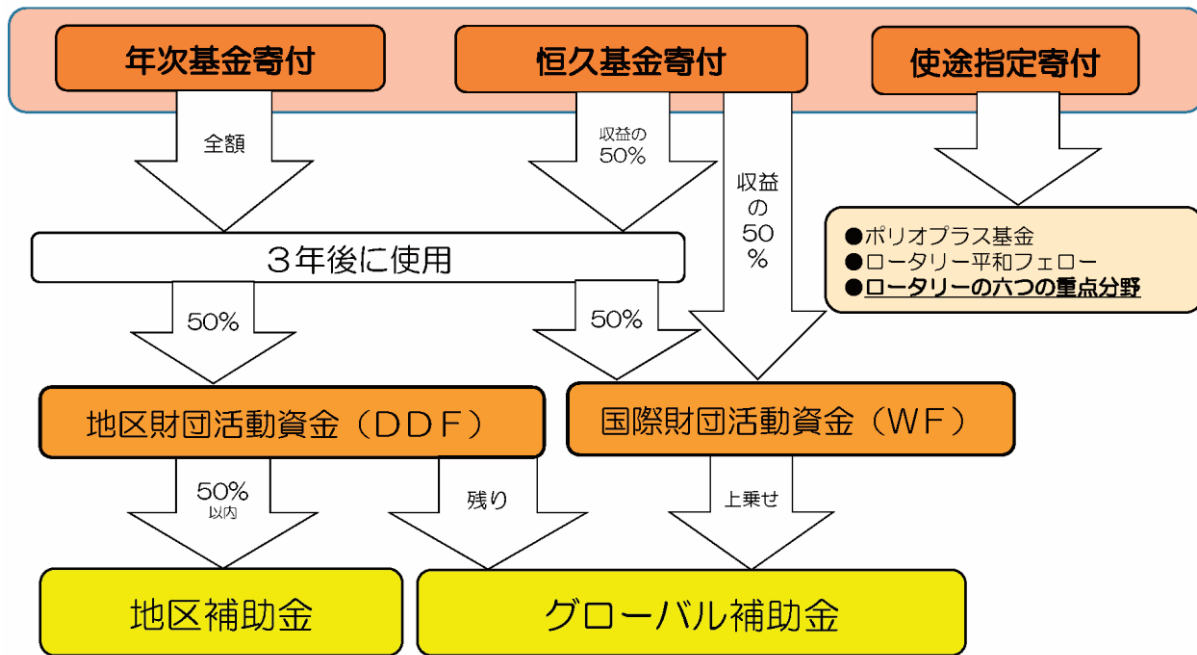
2 番目に、ロータリアンが主体的に活動するプロジェクトに優先的に補助金を使えるようにしました。

3 番目に、クラブの所在する地元でも、海外でも使用する事ができます。

4 番目に、補助金に対する地区の権限・決定権を大きくしました。

5 番目に、補助金を使ったメリハリのある奉仕プロジェクトを行うことによりロータリーの公共イメージを上げることにつながります。

寄付金と補助金のフローチャート



寄付金と補助金のシェアシステムの流れをフローチャートにしますと、上段の年次基金寄付や恒久基金寄付が3年間運用された後に地区財団活動資金と国際財団活動資金になり、各クラブで実施される奉仕事業の地区補助金やグローバル補助金として生まれかわります。

クラブの参加資格認定：覚書（MOU）

地区補助金を地区とクラブが適正に使用するには、クラブの参加資格認定：覚書（以下MOU）という覚書の提出が必要です。MOUを提出するためには、毎年開催される「地区ロータリー財団補助金管理セミナー」に出席またはWEBセミナーを視聴する必要があります。

MOUの提出にあたっては、資料ページのMOUを熟読していただき、その内容を理解した上で、会長エレクト（2021-22年度就任会長）及び会長ノミニー（2022-23年度就任会長）署名し、指定された期日までに提出する必要があります。提出時に会長ノミニーが選出されていない場合には、地区事務所へご連絡下さい。MOU未提出だと不利益を被る場合があります。例えば、自クラブで補助金を使用する予定がなくても、他クラブからのグローバル補助金（GG）プロジェクトの共催申し入れを受けることができなくなります。必ず提出をお願いします。

ロータリー財団への寄付

ロータリー財団への寄付は、主に下記3種類があります。

1. 年次基金寄付

年次基金は、3年間投資させていただき、その運用益は一般管理費や運営費等にあてられます。このシステムを「シェアシステム※」と呼びます。

皆様からいただいた貴重な寄付は、3年後に国際財団活動資金(WF=World Fund)と地区財団活動資金(DDF=District Designated Fund)に50:50の割合でシェアされ、全額プロジェクトに使われます。

当地区は全てのクラブが寄付をするという「年次基金寄付ゼロクラブ」が0(ゼロ)を達成しております。改めて皆様に感謝申し上げます。

2. 恒久基金寄付

恒久基金への寄付をしていただいた場合、いただいた寄付は基金として積み上げ、その元金には手をつけずにその運用益のみを使用していきます。運用益は一般管理費などに使われる他、国際財団活動資金(WF)と地区財団活動資金(DDF)にも配分され地区で行うプロジェクトにも使用されます。

3. 使途指定寄付

ポリオ・プラス、災害救援基金への寄付やグローバル補助金を利用したプロジェクトを行う際のクラブまたは個人からの拠出金等が該当します。つまり、使い方を指定した寄付です。

税制上の優遇措置

公益財団法人ロータリー日本財団を通じて日本円で寄付されますと、確定申告を行うことにより寄付金控除の対象となります。公益財団法人ロータリー日本財団設置の大きな目的はこのためです。

ロータリー日本財団への個人、法人からのご寄付は、確定申告を行うことにより税制上の優遇措置の対象となります。個人の寄付金に対する優遇措置は、「所得控除」または「税額控除」のいずれかを選択することが出来ます。「税額控除」には、確定申告の際「領収証」のほかに、「税額控除に係る証明書」が必要となります。証明書はロータリー日本財団のホームページ下記よりダウンロードしていただくか、日本事務局までご請求下さい。

詳しくは国税局のホームページ(個人・法人)、または最寄りの税務署にお問い合わせください。

http://piif-rfj.org/pdf/zeigakukoujyo-shoumei_H281101_H331031.pdf

確定申告用領収証は、ご所属のクラブにまとめて送付されます。7月から12月までの分は翌年1月末に、1月から6月までの分につきましては、同年7月末に送付されます。

補助金の種類

各クラブの事業に活用できる補助金には地区補助金とグローバル補助金、それぞれに奨学金があります。

1. 地区補助金事業

地区補助金は、地元、海外（ロータリークラブの無い国も可）を問わず比較的小規模なプロジェクトに使用でき地区が補助金を管理し、短期の1度のみのプロジェクトです。申請3年前のクラブ年次寄付（E R E Y）により支給割合が決まります。補助金は最高1万2千ドル クラブ拠出金は原則500ドル以上です。

2. グローバル補助金事業

下記のロータリーの6つの重点分野のいずれかに関していることが必要です。

- ①平和と紛争予防/紛争解決
- ②疾病予防と治療
- ③水と衛生
- ④母子の健康
- ⑤基本的教育と識字率の向上
- ⑥経済と地域社会の発展

※注：2021年7月より「環境の保全」が重点分野項目に追加されます。

持続かつ測定可能な大規模（3万ドル以上）なプロジェクトで、実施国と援助国のクラブや地区が共同提唱することができます。クラブ拠出金は500ドル以上で、複数のクラブで提案する場合は主クラブが1千ドル以上、副クラブは500ドル以上です。

3. ロータリー災害救援基金

最近できたロータリー財団の補助金に「ロータリー災害救援基金」があります。これは、用途指定寄付として地区の地区活動資金（DDF）やメンバー皆様から寄付金を募ります。そして、地区が災害を受けた地域の復興支援をするために最高2万5千ドルの補助金を申請する事が出来ます。

4. V T T（職業研修チーム）

V T T（職業研修チーム・Vocational Training Team）とは、専門職業人のグループが海外に赴き、スキルや知識の習得や、現地の専門職業人にスキルや知識の提供をするものです。地域社会の人々が自力で問題解決し、生活改善する力を身に付けることが出来るようにする事を目的にしています。

V T Tには地区補助金を利用するものとグローバル補助金を利用するものがありますが、現在、2630 地区では規模や持続性の観点からグローバル補助金による V T T を対象にしています。

グローバル補助金の V T T は、日本のロータリーでの実績も少なく、2630 地区での実績もまだありません。V T T の計画をされる際には、事前に補助金小委員会へご相談いただければより効率的な運営が可能と思われるのでお願いします。

5. ロータリー財団奨学金・学友会

(1) ロータリー財団奨学金

ロータリー財団の奨学金は、下記比較表のとおり、地区補助金（District Grants：DG）とグローバル補助金（Global Grants：GG）を利用する2つの奨学金に分かれます。

	①グローバル補助金奨学生	②地区補助金奨学生
応募時期	一年を通じて随時	12月～1月
専攻分野	6つの重点分野に該当する研究	6つの重点分野以外も可 (文化、芸術分野等も可)
授与金額	30,500ドル以上/人	10,000ドル(予定)/人
就学期間と学業レベル	1～4年間 大学院レベル	奨学金授与期間1年大学卒業以上
調達方法	クラブ拠出金 + 地区財団活動資金(DDF) + 国際財団活動資金(WF)	クラブ拠出金 + 地区補助金(DG)
海外留学である必要性	あり	あり
大学の入学許可	申請書の提出までに入学許可を取得していること	
受入カウンセラーの必要性	あり	なし

- ・グローバル補助金奨学金の対象者は6つの重点分野に関して研究する者に限られます。
- ・芸術や文学、音楽と言った分野は、地区補助金奨学金の対象となります。
- ・奨学生は、条件を満たしている限り、年齢を問いません。
- ・奨学金には、授業料、旅費、生活費、その他ロータリー財団承認の教育関連の費用が含まれますが承認前に支出した経費は対象になりません。(留学先への航空券代等の支払いに注意)
- ・奨学生の補助金申請をする時は各クラブが窓口となりますのでご協力をお願い申し上げます。
- ・奨学金についての質問や不明な点については、地区事務所へメールでお尋ね下さい。

2020-21年度地区補助金奨学生の状況

氏名	留学国	留学先大学	専攻	出身大学	推薦RC
中瀬 真依	イギリス	ギルドホール 音楽演劇学校	声楽 (ピアノ)	東京音楽大学	津
田中百合子	ドイツ	フライブルグ音楽大学	音楽 (ピアノ)	名古屋音楽大学	2630 地区
西田 百花	ドイツ	国立ハノーファー 音楽演劇メディア大学	音楽 (オペラ)	愛知県立芸術大学	2630 地区

(2)ロータリー財団学友会

ロータリー財団学友会は、ロータリー財団奨学生として外国に留学し、帰国した学生及び、研究グループ交換(GSE)を終了したチームメンバー、ロータリー平和奨学生のためのロータリー補助金授与者で構成されています。第2630地区では2020年5月末現在約400人の会員が在籍しています。

学友会の活動としては、推薦クラブとの継続した連携により、例会や地区大会などで卓話や講演、音楽発表を行っています。

奨学生のスポンサークラブは、奨学生の学友会参加の確認をお願いします。

ロータリーのポリオ根絶活動



1. 「ポリオ」という病気

ポリオ（急性灰白髄炎）は非常に感染性の高い病気であり、特に感染しやすいのは5歳未満の子どもです。日本では一般に「小児まひ」と呼ばれることもあります。

2. ポリオに関する事実

- (1) ポリオに最も感染しやすいのは5歳未満の子ども
- (2) 治療法はないが、ワクチンで予防が可能
- (3) 野生型ポリオウイルスの常在国はわずか2カ国
- (4) 1988年以来、発症数は99.9%減少
- (5) ポリオを永久になくさない限り、感染リスクは全世界の子どもに

3. ポリオ・プラスとは

世界からポリオを根絶するというロータリーの大規模な活動です。1985年に発足し、当初の目標は開発途上国の子供たちに、5年間、ポリオの予防接種を行なうために1億2千万ドルを集めることでした。ポリオ・プラス募金



キャンペーンは1988年に終了し、集められた資金は2億4千7百万ドルを記録しました。

2002年、世界的な根絶の達成にあたって最も大きな障害は資金不足であることが判明したため、ロータリーは、「約束を守ろう ポリオをなくそう」と呼ばれる

新たなポリオ根絶募金キャンペーンを開始し、この活動の目標額を8千万ドルとしました。ロータリアンは、持ち前の寛大さと熱意で、現金、地区財団活動資金、政府からの組み合わせ資金により、1億3千5百万ドル以上を集めることに成功しました。全体として、世界的なポリオ根絶運動へのロータリアンの寄付は6億5千万ドルを上回ると推定されています。

世界ポリオ根絶推進計画の一員として、世界保健機関、ユニセフ、米国疾病予防センター、各国政府やその他の団体と協同し、保健問題に取り組む世界で最も大規模な公共と民間の協力活動を行っています。この活動により、20億人近くの子供たちが経口ポリオワクチンの投与を受け、小児麻痺から守られました。

ポリオ・プラスほど大規模な運動で活躍した非政府組織は他にありません。この功績は、一人ひとりのロータリアンが誇りとすることができるものです。



**END
POLIO
NOW**

endpolio.org



感謝の気持ちを表すための認証

世界中で実施されているロータリーの活動は、ロータリー財団への皆さまからのご寄付を通じて初めて可能となります。ロータリー財団では、個人やクラブからのご寄付に対して感謝の気持ちを表すために、さまざまな認証プログラムをご用意しています。また、ご家族やご友人など大切な方のお名前を冠した基金を設立する機会もあります。

1. 会員への認証プログラム

(1) ポール・ハリス・フェロー

財団に1千ドル以上の寄付をした人、または名義人に贈られる称号です。年次基金、ポリオ・プラス、承認された財団補助金のいずれかに1千ドル以上を寄付した方が対象となります。ご本人以外の名義で寄付することで、ポール・ハリス・フェローの称号を他の会員に贈ることもできます。新たに認証を受けた方には、認証状と襟ピンが贈呈されます。



(2) マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ポール・ハリス・フェローのうち、1千ドル以上(合計2千ドル以上)の寄付を行った方に贈られる称号です。財団の認証ポイントを使い、他の会員をポール・ハリス・フェローに指名することもできます。マルチプル・ポール・ハリス・フェローとしての特別な襟ピンが贈呈されます。



(3) ベネファクター

1千ドル以上を恒久基金に無条件寄付した方は、ベネファクター(後援者)として認証されます。ベネファクターには、認証状と記念の襟ピンが贈られます。認証品は初回のみで、次回以降の寄付に対しては感謝状が送られます。



(4) ポール・ハリス・ソサエティ(P H S)

毎年1千ドル以上を、年次基金、ポリオ・プラス、財団が承認した補助金のいずれかにご寄付くださる方のための認証です。ポール・ハリス・ソサエティ入会の証として、襟ピンが贈呈されます。



(5) 「財団の友」会員

年次基金に毎年100ドル以上のご寄付を誓約した方は、自動的に「財団の友」会員として認証されます。

(6) 「遺贈友の会」会員

遺産計画(遺言、生前信託、生命保険等)を通じて合計1万ドル以上の寄付を誓約された方(または夫婦)を、ロータリー財団管理委員会より「遺贈友の会」会員として認証します。会員には、名前が刻まれたクリスタル認証盾と襟ピンが贈られます。

(7) メジャー・ドナー

累積寄付の合計が1万ドルに達した方(または夫婦)をメジャー・ドナー(大口寄付者)として認証します。クリスタル製認証品と襟ピン(またはペンダント)が贈呈されます。認証の品は、以下の寄付レベル(レベル1～4)に基づいて贈られます。

レベル4	100,000 ～ 249,999ドル
レベル3	50,000 ～ 99,999ドル
レベル2	25,000 ～ 49,999ドル
レベル1	10,000 ～ 24,999ドル



(8)レガシー・ソサエティ

恒久基金に 100 万ドル以上の寄付を誓約（遺贈などを含む）した個人またはご夫妻が会員となります。ロータリー年次報告書にお名前が記載されます。国際ロータリーとロータリー財団の特別行事に招待されます。レガシー・ソサエティ会員は、特別な認証品を受領するほか、遺贈友の会会員のすべての特典受けることができます。

(9)アーチ・クランフ・ソサエティ

財団に対して最高レベルの寄付を寄せた方々を称えるのがアーチ・クランフ・ソサエティです。累積寄付が25万ドルに達した方をソサエティ会員として迎え入れ、多大な寄付への感謝の気持ちとして認証ピンやペンダントが贈られるほか、米国イリノイ州エバンストンの国際ロータリー本部での入会式への招待等、さまざまな特典及び生涯にわたる資格を得ます。国際ロータリー本部にある「アーチ・クランフ・ソサエティ・ギャラリー」(タッチパネル式スクリーン)に肖像写真と略歴が掲載されます。アーチ・クランフ・ソサエティの認証レベルは以下の通りです。

当地区では、竹腰パストガバナーご夫妻が認証されました。

管理委員会サークル	250,000ドル ~ 499,999ドル
管理委員長サークル	500,000ドル ~ 999,999ドル
財団サークル	1,000,000ドル ~ 2,499,999ドル
管理委員会プラチナサークル	2,500,000ドル ~ 4,999,999ドル
管理委員長プラチナサークル	5,000,000ドル ~ 9,999,999ドル
財団プラチナサークル	1千万ドル以上



2. クラブに対する主な認証

クラブに対する主な認証は下記の 5 つがあり、それぞれ感謝状とバナーが贈られます。皆様、1 度挑戦して下さい。

(1) 100%ポール・ハリス・フェロー・クラブ

正会員全員がポール・ハリス・フェローとなったクラブ。ロータリー財団から1度限りの特別なバナーが贈られます。



(2) 100%ポール・ハリス・ソサエティ・クラブ

正会員全員が各ロータリー年度に、年次基金、ポリオ・プラス基金、グローバル補助金プロジェクトのいずれかに1千ドル以上寄付したクラブ。

(3) 100%財団寄付クラブ

正会員全員が、寄付分類にかかわらずロータリー財団へ寄付をし、一人あたりの平均寄付額が少なくとも100ドルに達しているクラブ。

(4) Every Rotarian Every Year/「財団友の会」会員クラブ

正会員全員が年次基金へ100ドル以上を寄付したクラブ。

(5) 年次基金への寄付が上位3位のクラブ

各地区で一人あたりの年次基金への寄付額が上位3位のクラブ一人あたりの寄付額が少なくとも50ドルであるクラブが対象となります。



ロータリーのクレジットカード

**このカードは世界で初めて
日本のロータリークラブが採用。**

**それぞれの地区、クラブ、地区委員会
単位で決済可能な法人カード
『ロータリーダイナースクラブカード』**



三井住友トラストクラブ(株)
法人営業本部

2016年から新たに「ロータリーダイナースクラブカード」が発行されました。このカードは、みなし法人カードとしてクラブ、地区、各委員会単位で作成ができ、GTMや例会の費用、諸経費やRIへの人頭分担金、寄付などの支払ができ、利用額の0.3%がポリオ根絶の活動資金に充てられます。年会費は無料ですので是非クラブで1枚所有してください。*カードにポイントは付与されません。

ロータリーダイナースクラブカード
クラブカード（年会費無料）

申込み先https://www.diners.co.jp/ja/entry_form/lp/rotary/index.html

コールセンター：0120-041-962

クラブカード：会長、副会長、幹事、会計、理事、
会長エレクト、次期副会長、次期幹事、
次期会計、次期理事、
事務局の方が所持対象



資料編

1. 地区補助金・奨学金支給規定-----	18
2. 3年前の年次基金寄付額一覧(2018-19)-----	20
3. 地区補助金募集案内-----	22
4. 地区補助金申請一覧-----	24
5. 地区補助金申請書の書き方例-----	26
6. 地区補助金報告書の書き方例-----	29
7. 地区補助金申請書-----	31
8. 地区補助金最終報告書-----	34
9. 地区補助金奨学生募集要項-----	36
10. グローバル補助金・奨学金支給規定-----	39
11. グローバル補助金申請用 地区財団活動資金(DDF)使用申請書-----	41
12. グローバル補助金奨学生募集要項-----	43
13. グローバル補助金奨学生へのクラブの対応-----	46
14. クラブの参加資格認定：覚書(MOU)-----	50
15. アンケート (ロータリー財団研修(補助金管理)セミナー資格認定) -----	53

「地区補助金」支給規定

地区補助金 (District Grants) は、3年前の年次基金寄付額及び恒久基金より生じた投資収益の合計額を基に算定される地区財団活動資金 (DDF) の50%までを充当出来る規定になっております。地区内クラブへの地区補助金の支給は、3年前の年次基金への寄付額に応じて、支給額と支給限度額を決定します。

- 1 3年前の年次基金の一人当たりの平均寄付額 (EREY) が
100ドル未満
⇒このクラブには、2,000 ドルを上限として
「クラブ現金拠出額」×「EREY/100」の地区補助金を支給します。
クラブの現金拠出額は500ドル以上必要とします。
- 2 3年前の年次基金の一人当たりの平均寄付額 (EREY) が
100ドル以上150ドル未満
⇒このクラブには、5,000 ドルを上限として
「クラブ現金拠出額」×「EREY/100」の地区補助金を支給します。
クラブの現金拠出額は500ドル以上必要とします。
- 3 3年前の年次基金の一人当たりの平均寄付額 (EREY) が
150ドル以上200ドル未満
⇒このクラブには、10,000 ドルを上限として
「クラブ現金拠出額」×「EREY/100」の1.5倍の地区補助金を支給します。
クラブの現金拠出額は500ドル以上必要とします。
- 4 3年前の年次基金の一人当たりの平均寄付額 (EREY) が
200ドル以上
⇒このクラブには、12,000 ドルを上限として
「現金拠出額」×「EREY/100」の2倍の地区補助金を支給します。
クラブの現金拠出額は500ドル以上必要とします。

地区補助金の計算例

＜地区補助金事業＞※地区活動資金 (DDF) 限度額 12,000 ドル

3年前の年次基金の一人当たり(EREY)の平均寄付額が、0.01 ドルから99.99 ドルのクラブ ※地区活動資金 (DDF) 限度額 2,000 ドル

①クラブ拠出金となる現金額	②3年前の平均 EREY 額	③クラブ現金拠出金に対する DDF $① \times ② / 100$	④合計 ①+③
500 ドル	50 ドル	250 ドル	750 ドル
1,000 ドル	50 ドル	500 ドル	1,500 ドル
2,000 ドル	50 ドル	1,000 ドル	3,000 ドル

3年前の年次基金の一人当たり(EREY)の平均寄付額が、100 ドルから149.99 ドルのクラブ ※地区活動資金 (DDF) 限度額 5,000 ドル

①クラブ拠出金となる現金額	②3年前の平均 EREY 額	③クラブ現金拠出金に対する DDF $① \times ② / 100$	④合計 ①+③
500 ドル	100 ドル	500 ドル	1,000 ドル
1,000 ドル	100 ドル	1,000 ドル	2,000 ドル
2,000 ドル	100 ドル	2,000 ドル	4,000 ドル

3年前の年次基金の一人当たり(EREY)の平均寄付額が、150 ドルから199.99 ドルのクラブ ※地区活動資金 (DDF) 限度額 10,000 ドル

①クラブ拠出金となる現金額	②3年前の平均 EREY 額	③クラブ現金拠出金に対する DDF $① \times ② / 100 \times 1.5$	④合計 ①+③
500 ドル	150 ドル	1,125 ドル	1,625 ドル
1,000 ドル	150 ドル	2,250 ドル	3,250 ドル
2,000 ドル	150 ドル	4,500 ドル	6,500 ドル

3年前の年次基金の一人当たり(EREY)の平均寄付額が、200 ドル以上のクラブ ※地区活動資金 (DDF) 限度額 12,000 ドル

①クラブ拠出金となる現金額	②3年前の平均 EREY 額	③クラブ現金拠出金に対する DDF $① \times ② / 100 \times 2$	④合計 ①+③
500 ドル	200 ドル	2,000 ドル	2,500 ドル
1,000 ドル	200 ドル	4,000 ドル	5,000 ドル
2,000 ドル	200 ドル	8,000 ドル	10,000 ドル

＜地区補助金奨学金＞ ※地区活動資金 (DDF) 限度額原則 9,500 ドル

①クラブ拠出金となる現金額 500 ドル + ②地区活動資金 (DDF) 9,500 ドル = ③計 10,000 ドル

3年前の年次基金寄付額一覧

2018～2019年度財団寄付 (EREY)

グループ	クラブ名	会員数	年次基金額	1人当り年次寄付 EREY
岐阜A	岐阜	83	\$6,204.05	\$74.75
	岐阜西	52	\$1,510.73	\$29.05
	岐阜長良川	49	\$3,259.00	\$66.51
	岐阜北	30	\$5,100.00	\$170.00
	岐阜中	26	\$3,118.73	\$119.95
	グループ小計(5)	240	\$19,192.51	\$79.97
岐阜B	岐阜南	100	\$7,986.27	\$79.86
	岐阜東	48	\$3,822.93	\$79.64
	岐阜東南	38	\$8,300.00	\$218.42
	岐阜加納	70	\$10,286.00	\$146.94
	岐阜エトス	20	\$2,640.72	\$132.04
	岐阜城	15	\$3,128.74	\$208.58
	グループ小計(7)	291	\$36,164.66	\$124.28
岐阜西濃	大垣	85	\$8,585.34	\$101.00
	大垣西	75	\$7,575.00	\$101.00
	本巣	30	\$3,750.04	\$125.00
	羽島	28	\$5,200.00	\$185.71
	不破	30	\$4,650.00	\$155.00
	大垣中	42	\$5,681.82	\$135.28
	大垣センチュリー	49	\$3,857.14	\$78.72
	岐阜淡墨	15	\$3,237.00	\$215.80
	岐阜サンリバー	20	\$4,276.40	\$213.82
	グループ小計(9)	374	\$46,812.74	\$125.17
岐阜東濃	多治見	49	\$10,090.00	\$205.92
	中津川	74	\$7,600.00	\$102.70
	瑞浪	57	\$6,000.00	\$105.26
	恵那	45	\$8,610.08	\$191.34
	土岐	41	\$6,300.00	\$153.66
	多治見西	33	\$6,090.94	\$184.57
	中津川センター	48	\$5,000.00	\$104.17
	多治見リバーサイド	40	\$6,159.55	\$153.99
	グループ小計(8)	387	\$55,850.57	\$144.32
東海北陸道	美濃	27	\$4,050.00	\$150.00
	各務原	24	\$3,750.00	\$156.25
	関	50	\$7,792.86	\$155.86
	郡上八幡	40	\$5,400.00	\$135.00
	関中央	32	\$4,800.00	\$150.00
	郡上長良川	33	\$3,751.01	\$113.67
	各務原中央	27	\$4,007.77	\$148.44
	各務原かかみの	10	\$856.00	\$85.60
	グループ小計(8)	243	\$34,407.64	\$141.60
濃飛	高山	41	\$6,750.00	\$164.63
	下呂	22	\$3,300.00	\$150.00
	高山西	40	\$9,000.00	\$225.00
	美濃加茂	39	\$6,450.00	\$165.38
	可児	27	\$3,649.67	\$135.17
	高山中央	55	\$6,035.56	\$109.74
	グループ小計(7)	224	\$35,185.23	\$157.08
岐阜県合計		1,759	\$227,613.35	\$129.40

2018～2019年度財団寄付 (EREY)

グループ	クラブ名	会員数	年次基金額	1人当り年次寄付 EREY
桑員	桑名	41	\$4,200.00	\$102.44
	桑名西	35	\$5,918.57	\$169.10
	桑名中央	27	\$4,200.00	\$155.56
	桑名北	32	\$4,800.00	\$150.00
	グループ小計(4)	135	\$19,118.57	\$141.62
四日市	四日市	92	\$18,552.92	\$201.66
	四日市北	22	\$3,000.00	\$136.36
	四日市西	68	\$10,690.00	\$157.21
	四日市南	37	\$6,575.00	\$177.70
	四日市東	39	\$5,700.00	\$146.15
	グループ小計(5)	258	\$44,517.92	\$172.55
鈴鹿・亀山	鈴鹿	66	\$12,180.46	\$184.55
	鈴鹿西	40	\$4,360.39	\$109.01
	鈴鹿ベイ	12	\$1,800.00	\$150.00
	亀山	14	\$1,800.00	\$128.57
	鈴鹿シティ	64	\$14,698.86	\$229.67
	グループ小計(5)	196	\$34,839.71	\$177.75
中勢・伊賀	津	66	\$10,205.29	\$154.63
	上野	40	\$3,540.00	\$88.50
	名張	36	\$4,642.91	\$128.97
	津南	49	\$5,853.61	\$119.46
	津北	40	\$7,554.09	\$188.85
	上野東	40	\$6,400.00	\$160.00
	久居	27	\$6,172.39	\$228.61
	名張中央	22	\$1,598.57	\$72.66
	グループ小計(8)	320	\$45,966.86	\$143.65
松阪・東紀州	松阪	78	\$12,319.64	\$157.94
	松阪東	56	\$8,400.00	\$150.00
	熊野	35	\$4,492.86	\$128.37
	尾鷲	12	\$1,397.73	\$116.48
	松阪山桜	38	\$6,151.79	\$161.89
	グループ小計(5)	219	\$32,762.02	\$149.60
伊勢・鳥羽・志摩	伊勢	61	\$5,090.00	\$83.44
	鳥羽	30	\$4,160.00	\$138.67
	伊勢南	43	\$3,559.91	\$82.79
	志摩	48	\$5,390.00	\$112.29
	伊勢中央	50	\$5,021.63	\$100.43
	伊勢度会	15	\$2,250.00	\$150.00
	グループ小計(6)	247	\$25,471.54	\$103.12
三重県合計		1,375	\$202,676.62	\$147.40
地	区		\$0.00	
地区合計(78)		3,134	\$430,289.97	\$137.30

地区補助金募集案内

令和二年 11 月吉日

国際ロータリー第 2630 地区

各ロータリークラブ

次期クラブ会長、次期クラブロータリー財団委員長 各位

国際ロータリー第 2630 地区

ガバナー 劔田 廣喜

ガバナーエレクト 浦田 幸一

ロータリー財団部門委員長 平井 義之

地区補助金申請についてのご案内（2021～2022 年度）

2021～22 年度地区補助金申請に関して、次の通りお知らせ申し上げます。

地区補助金は、私たちロータリアンの年次寄付をロータリー財団（TRF）にて 3 年間運用された後配分された地区活動資金（DDF）を財源として、クラブの社会奉仕活動を支援する補助金です。2630 地区では、下記の要領により地区補助金の募集と申請を受け付けます。

奮ってご応募いただきますようご案内申し上げます。

1. 申請者 2630 地区内ロータリークラブ（1 クラブ 1 口とします）

2. 募集口数 合計口数には制限はありませんが、申請順に審査します。

3. 募集金額

(1) クラブが申請できる金額は、「2630 地区補助金支給規定」によります。

(2) ただし、承認した申請額が、予算額を越えた場合は、事業内容により補助金を振り分けますので、補助金額の変更をお願いする場合がありますので、ご承知下さい。

4. 補助金の対象となるプロジェクト

(1) ロータリー財団の使命（健康状態改善・教育支援・貧困救済・世界理解・親善・平和達成など）に関連している、人道的プロジェクト、教育的プロジェクト、青少年育成プロジェクト、環境保全プロジェクトです。

(2) ロータークラブ及びロータリアンが積極的かつ主体的に関わっていること。

(3) ロータリアン及びその関係者にそのプロジェクトが直接利益をもたらさないこと。

(4) 単なる物品の寄贈、寄付行為や入場料を徴収する事業、毎年継続しているプロジェクトや進行中のプロジェクト、ロータリー以外の団体が主として提唱活動している事業には使用できません。

- (5)プロジェクトの実施に当たっては、報道機関に広報しプロジェクトを推進すること。
- (6)他のクラブとの共催や対象国にロータリークラブがない海外プロジェクトも可能。
- (7)ロータリー財団の地区補助金の授与と受諾の条件を満たしていること。

5. 対象期間

- (1)2021年7月1日以降プロジェクトを開始し、2022年3月31日までに完了してください。
- (2)事業終了後1か月以内に最終報告書を提出して下さい。報告書には支出明細書、領収書、事業実施状況写真、受益者の感想、広報状況などの書類を添付して下さい。遅くとも4月末までには報告書を提出できるように計画してください。

6. 申請書の提出期間

2020年12月1日から2021年1月31日まで。申請順に審査しますので、なるべく早く申請してください。

7. 申請書の様式と提出先

別紙の申請書用紙を使用し、地区事務所 (branch@rid2630.org) へ Eメールで送信して下さい。申請書書式は地区ホームページよりダウンロードできます。

8. 注意事項

- (1)2020年11月30日までに、クラブの参加資格認定；覚書（MOU）を地区事務所へ提出すること。補助金申請を予定していないクラブも提出義務があります。
- (2)本来であれば、2630地区ロータリー財団部門が実施する補助金管理セミナーにクラブより最低1名が参加して資格審査を受ける義務があります。しかし、本年度はCOVID-19（新型コロナウイルス）の影響でセミナーが開催できません。よって、ロータリー財団部門より各クラブに配信しますセミナー動画（YouTube配信）を見ていただき、アンケートにお答えいただくことにより資格認定することになりました。

以上

2020-21年度地区補助金申請一覧

番号	クラブ名	活動の種類	活動内容	活動の実施地	配分額 (米ドル)
1	高山中央	教育 (ボランティア奉仕)	不登校・登校拒否・引きこもり児童生徒たちに学力向上事業	日本	5,000
2	関	保険 (Covid-19)	関市にマスク他、COVID-19 対策用品を提供	日本	3,149
3	岐阜加納	地域社会の発展 (一般)	加納の歴史・文化継承プロジェクト	日本	12,000
4	岐阜東南	地域社会の発展 (一般)	地域の広域消防向けに災害現場で威力を発揮するドローンを寄贈し、その操作・活用方法について広く地域住民と学習・議論を深め、地域の防災意識の向上を図る	日本	7,442
5	関	地域社会の発展 (一般)	関ロータリークラブ旗争奪戦 中学生野球大会	日本	4,937
6	美濃	地域社会の発展 (ボランティア奉仕)	国指定伝統建造物保存地区の防火活動「うだつの町の火の用心」	日本	5,000
7	多治見	地域社会の発展 (一般)	虎渓陽水広場の清掃とイルミネーション設置	日本	6,000
8	本巣	保健 (Covid-19)	新型コロナウイルス (COVID-19) の対策事業として、クラブテリトリーの2市1町にマスクを寄贈する	日本	4,420
9	岐阜南	地域社会の発展 (一般)	岐阜県美術館におけるゲート車止め製作とワークショップ開催支援	日本	5,000
10	上野東	教育 (一般)	U-9 ジュニアフットサル大会開催 地域の青少年育成と活性化	日本	3,997
11	鳥羽	教育 (一般)	地域に貢献する人材育成めざす鳥羽高とキャリア支援を通して地域を応援する鳥羽ロータリークラブとの共催による鳥羽高生の成果発表イベントの開催	日本	4,500
12	岐阜城	教育 (一般)	岐阜市の豊かな自然を含む環境を守る担い手を育成する	日本	1,607
13	名張	地域社会の発展 (一般)	カラオケを通じ、高齢障がい者の活動意欲の向上を図る	日本	3,921

番号	クラブ名	活動の種類	活動内容	活動の実施地	配分額 (米ドル)
14	高山西	地域社会の発展 (一般)	地域にハンドボールの普及を図る為に、競技の歴史、ルールの勉強会、競技大会を開催する	日本	10,000
15	郡上長良川	教育 (一般)	市内小学生を対象に「くむんだー」の実演、木育講習を行う	日本	7,043
16	四日市南	教育 (一般)	簡易リレーマラソン等を通じて、知的障がい者の支援と地域社会との交流を図る	日本	5,436
17	鈴鹿西	教育 (一般)	知的障がいを持つ子どもたちの自立支援のための環境づくりを行う	日本	1,457
18	岐阜エトス	地域社会の発展 (一般)	市民と共に SDGs を知り学び、実行しよう。SGC の啓蒙活動	日本	1,567
19	尾鷲	教育 (一般)	地域の中学校吹奏楽部の楽器修理と演奏会開催	日本	2,091
20	鈴鹿	教育 (一般)	市内中学校にハンドボールの普及を図り、ハンドボール選手(三重バイオレットアイリス)との交流と技術指導を行う	日本	8,425
21	各務原	教育 (一般)	各務原市スポーツ少年団野球部会と野球講習会を通じて少年野球の普及を図る	日本	3,057
22	2630 地区	保健 (Covid-18)	Covid-19 への対応として地区内医療機関に防護マスク(フェイスマスク)を寄贈する	日本	10,000
23	2630 地区	補助金管理セミナー	R 財団補助金管理研修セミナー開催費用	日本	3,700
24	津	教育 (奨学金)	奨学生：中瀬 真依 イギリス 専攻分野：音楽 (ピアノ) 留学先：ギルドホール音楽演劇学校	イギリス	19,000
25	2630 地区	教育 (奨学金)	奨学生：田中 百合子 ドイツ 専攻分野：音楽 (ピアノ) 留学先：フライブルグ音楽大学	ドイツ	20,000
26	2630 地区	教育 (奨学金)	奨学生：西田 百花 ドイツ 専攻分野：音楽、指揮科コレパティション (オペラ) 留学先：国立ハノーファー音楽演劇メデア大学	ドイツ	20,000

国際ロータリー第 2630 地区

具体的な名前をつける。

ロータリー財団地区補助金申請書（2021-2022 年度実施事業対象）

申請クラブ名	〇〇ロータリークラブ	申請月日	2021年1月15日
プロジェクト名	市内全域小学校にラグビーの普及を図り、ラグビー選手との交流と技術指導を行う		
申請事業の種類（ <input type="radio"/> 印）			
<input type="radio"/>	奉仕事業 《・平和と紛争予防/解決 ・疾病予防と治療 ・水と衛生 ・母子の健康 ・基本的教育と識字率向上 ・経済と地域社会の発展》		
	奨学金事業		
	V T T 事業		
実施場所	グリーンフィールド中池〈市営グラウンド〉		
実施期間《規定・2021年7月～2022年3月》	2021年8月15日 ～ 2021年9月30日		

※最終報告書提出期日 《規定・事業終了後2か月以内および最終締め切り4月30日》

地域のニーズを調査し、取り上げる。

適合する重点分野の具体的な説明と事業全体の主旨説明

ラグビーは低学年から取り組めること、どの子も今持っている力で楽しむ優しい学習、ゲームへの参加により豊かな運動量をもたらされる事、個人差や男女差が顕在化しにくい運動である等の理由により、市教育機関においては市内全域の小学校に普及を図りたいと努力をしている。

市内の高校がラグビー全国大会の常連校でもあり、ラグビーのすそ野を広げることは地域ぐるみの希望でもあります。

ラグビーが教育機関や地域の希望で有るにも関わらず、思うように普及しない原因を調べた結果、「①、学校関係者にラグビーの指導者が少ない。」「②、ラグビーの揃った機材が学校に無い。」「③、ラグビーの練習方法や、ルールが解らない。」ことなどが上げられました。

そこで、当クラブではこれらの問題を解決することは、ラグビーの普及を願う地域の基本的教育と地域社会の発展に貢献できる奉仕プログラムであると考えます。

具体的な事業としては、地域のラグビー協会と大学ラグビー部の協力得て、小学校の先生と生徒を対象にラグビーの指導方法と効率的な練習方法のセミナーを開催します。そして、市内全域の小学校に、ラグビーの用具を寄贈し、すべての学校にラグビー部の設置と体育の授業でラグビー採用を求めて行きます。

問題点を探り、ロータリーならではの解決策を見つけ、プロジェクト化します。

財団の提唱する6つの重点項目の何に合致するかを明記する。

例会開催、寄付や贈呈だけのプロジェクトでは認められない。

プロジェクトの具体的説明

- ① まず、メンバー自身がラグビーの魅力や意義を理解する例会を開催する。
ラグビー協会メンバーによる卓話を実施する。
- ② ラグビー協会と大学ラグビー部に協力依頼と、プロジェクトの内容を協議する。
セミナーの規模、日時、場所、参加人数を協議する
- ③ 市内の全小学校にプロジェクトの意義を説明し参加を依頼する。
小学校校長会においてプロジェクトの意義、内容を説明し、各学校を訪問しセミナーへの参加依頼を行う。
- ④ 市内のグラウンドにおいて、指導方法と効率的な練習方法のセミナーを開催する。
市内のグラウンドを借りて、メンバーが線引きをしてラグビー場を設営する。
- ⑤ セミナー後、チームに分かれ練習試合を行う。
- ⑥ 後日、参加小学校にラグビーの用具一式を贈呈する。
メンバーがグループに分かれ全校を訪問し、用具を贈呈すると共にセミナーの報告をする。

ロータリアンの参加状況

クラブ会員数 49 名中 49 名の参加予定

例会や贈呈式への出席だけでなく、メンバー自身が汗する行動が必要です。

参加の方法と具体的な活動

- ① ラグビーの現状調査、および、勉強会参加。(例会参加)
- ② メンバーがチームに分かれ各学校を訪問し、プロジェクトの意義の説明とセミナーへの参加を依頼する。
- ③ セミナー当日、会場を設営する。炎天下でのセミナーの為、出来るだけ多くのテントを張り熱中症対策をする。ライン引きをして、ラグビー場を3面設営する。
- ④ セミナー参加校にラグビーの用具を持参し贈呈する。

プロジェクトがロータリーであること具体的な広報方法

- ① セミナー会場に横断幕とロータリー旗を掛けロータリーの事業であることをアピールする。
- ② 中日新聞、岐阜新聞に記事の掲載を依頼する。
- ③ ケーブルテレビに取材と放映を依頼する。
- ④ クラブのホームページ、フェイスブックに記事を掲載する。

会場には必ずロータリー旗を掲げ、ロータリーの事業であることを解るようにする。写真や映像に必ず入るように依頼する。

協力団体	有・無	団体名称	〇〇市ラグビー協会、〇〇大学ラグビー部
------	-----	------	---------------------

プロジェクト予算

補助金限度額算出基準 2018-19年度の一人当たりの年次寄付額 <u>154.0\$</u> (予定クラブ拠出金に対する補助金限度額 10,000\$)			
収入明細			
クラブ拠出金	307,583円	2796.20US\$ (@110)	
申請補助金	710,517円	6459.25US\$ (@110)	
合計	1,018,100円	9255.45 US\$ (@110)	
支出明細 (見積書など添付)			
費用の項目	内容・見積書No.	金額 円	金額 US\$ (@110)
1、タグラグビーセット	(有)やよいNo.1	776,920円	7062.90
2、会場費 グランド使用料	No.2	7,560円	68.73
3、講師料		80,000円	727.27
5、大学ラグビー部、フットボール協会お弁当	No.3	27,000円	245.25
6、飲料水代	No.4	16,300円	148.18
7、看板代・横断幕	No.5 No.6	85,320円	775.64
8、雑費 グランド整備費用・講習会資料	(有)やよいNo.1	25,000円	234.32
プロジェクトの予算合計		1,018,100円	9255.45

クラブ拠出金(A) 地区補助金(B) プロジェクトの総額(C)の時申請補助金
 $A+B=C$ $B \leq \alpha \times A \times EREY / 100$ $A \geq 100C / \{100 + (\alpha \times EREY)\}$

∴ EREY < 100の時 $\alpha = 1.0$ $B \leq 2,000$
 100 ≤ EREY < 150の時 $\alpha = 1.0$ $B \leq 5,000$
 150 ≤ EREY < 200の時 $\alpha = 1.5$ $B \leq 10,000$
 200 ≤ EREYの時 $\alpha = 2.0$ $B \leq 12,000$

プロジェクト責任者

氏名	〇〇〇〇	役職	次期社会奉仕委員会委員長
電話 (携帯)	090-0000-0000	メールアドレス	PCのメールアドレス

サブ責任者

氏名	〇〇〇〇	役職	次期幹事
電話 (携帯)	090-0000-0000	メールアドレス	PCのメールアドレス

クラブ承認署名

クラブは地区ロータリー財団委員会に対し、プロジェクトの活動内容に責任を持ち、報告する義務があります。申請者の署名は、提唱者がその責任を理解し、了承したことを確認することになります。また提唱者の署名は、本申請書の全ての記載事項が真実であり、正確であることを確認することになります。

2020-21 クラブ会長名	〇〇〇〇	会長署名	年 月 日
2020-21 ガバナー補佐名	〇〇〇〇	AG署名	年 月 日

申請年度の会長、AGの署名を記入。実施年の会長、AGに必ず引継ぎをしてください。

地区使用欄

第2630地区ロータリー財団委員長承認

地区補助金 US _____ ドルを使用することを承認いたします。

第2630地区ロータリー財団委員長 平井 義之

署名 _____ 年 月 日 _____

個別プロジェクト報告書の書き方例

本書式に漏れなく記入の上、地区ロータリー財団委員長にご返送ください(直接ロータリー財団に送らないでください)。

ロータリー・クラブ: ○○ロータリークラブ

プロジェクト名: ラグビー選手と小学生との交流及び技術指導

中間報告書 最終報告書

プロジェクトの概要

1. このプロジェクトで何が、いつ、どこで実施されたかを簡潔に説明してください。これが中間報告書である場合には、今後実行すべき活動内容も説明してください。

- (1) 例会に於いて、タグラグビーの魅力メンバー自身が勉強する
いつ:7/14 ところで:例会場
- (2) 校長会や学校訪問をしてプロジェクトへの意義を説明し参加を呼びかける
いつ:8/1~8/10
- (3) 市内全小学校へのタグラグビーセットの寄贈:
いつ:8/22~8/31
ところで:市内全小学校
- (4) 大学ラグビー部員によるタグラグビークリニック開催
いつ:8/22 午前中
ところで:中池東グラウンド

補助金申請時の内容と合致しているか。申請に無いプログラムが含まれていないかチェックしてください。

2. このプロジェクトの恩恵を受けた人々の数はどのぐらいですか。 5,023 名

3. プロジェクトの受益者は誰ですか、またどのような恩恵を受けましたか。プロジェクトはどのような人道的ニーズに応えましたか。

- (1) 市内全小学校へのタグラグビーセットの寄贈
受益者:市内全小学生(19校、5,023名)
恩恵:より多くの児童が競技を楽しむことができるようになった。
人道的ニーズ:各種事情で競技用具がなかった小学校の児童にも、本競技を楽しむ機会を与えることができた。
これにより教育の機会均等にも貢献できた。
- (2) 大学ラグビー部員によるタグラグビークリニック
受益者:参加小学生 320人
恩恵:優れた競技者からの指導は、競技スキルの向上はもとより、児童達に夢や憧れを抱かせることができた。
人道的ニーズ:タグラグビーの普及は、児童の逞しく健やかな成長に貢献できた。

プロジェクトの内容毎に受益者、恩恵、人道的ニーズを書くと分かり易い。

4. このプロジェクトに何名のロータリアンが参加しましたか。 40 名

5. これらのロータリアンは何を行いましたか。プロジェクトへの財政的支援を除き、その具体例を少なくとも2つ挙げてください。

- (1) 市内全小学校へのタグラグビーセットの寄贈:
 - ・タグラグビー普及促進の啓蒙活動
 - ・タグラグビーセットの配布
- (2) 大学ラグビー部員によるタグラグビークリニックの設営、運営:
 - ・大学ラグビー部、市内ラグビーフットボール協会、市教育委員会などとのネットワークを築き、本プログラムの作成を共に行った
 - ・市内全小学校とネットワークを築き、参加児童の募集を行った
 - ・会場の設営
 - ・事業の運営
 - ・マスコミへの取材依頼

例会以外の活動に重点を置いてください。

6. 協力団体が関与している場合、その団体の役割は何でしたか。
大学ラグビー部、ラグビーフットボール協会:クリニックの指導係

地区補助金の支給を受けた月のロータリーレート

財務報告(地区はすべての支出の領収書を少なくとも5年間保管しなければなりません)

使用通貨 円 為替レート 108円 = 1米ドル

7. 収入

収入源	通貨	金額
1. 地区補助金	円	768,100
2. クラブ拠出金	円	247,240
3. その他の資金(具体的に記入)	円	
プロジェクトのための収入合計額		円 1,015,340

地区補助金額は、\$レートにより変動します。増減分は、クラブ拠出金で調整してください。

8. 支出(具体的にお書きください。必要に応じて行を追加してください。)

支出項目	業者名	通貨	金額
1. タグラクビーセット	(有)やよい	円	776,920
2. 会場費 グランド使用料	中池グランド	円	3,140
3. 大学ラグビー部お礼	〇〇大学 〇〇様	円	50,000
4. フットボール協会お礼	ラグビー協会 〇〇様	円	30,000
5. 大学ラグビー部お弁当	〇〇大学	円	19,440
6. フットボール協会お弁当	〇〇協会	円	12,960
7. 飲料水		円	22,560
8. 看板代		円	9,720
9. 横断幕	ケイ・ポート	円	75,600
10. 雑費 グランドライン引き用石灰	〇〇スポーツ	円	8,000
11. 雑費 講習会資料代	ラグビー協会	円	7,000
プロジェクト支出合計額		円	1,015,340

重要
支出項目は、申請書の予算項目と同じにしてください。

証明の署名

本報告書に署名することで、私の知る限りにおいて、地区補助金の資金が管理委員会の指針に準拠し認められた項目にのみ使用され、ここに記されたすべての情報が事実であり、かつ正確であることを認めます。補助金資金のすべての支出の領収書を、地区に提出しました。また、私は、本報告書に関連して提出した写真はすべて、RIの所有物となり、返送されないことも理解しています。私は著作権を含むこの写真のすべての権利を所有することを認め、時と場所を問わず、いかなる方法、また現在知られている媒体または後に作成された媒体量において、使用料なしで写真を使用する取消不能な許可をRIとロータリー財団に与えます。これには、必要であれば、RIの独自の量により写真に修正を加える権利が含まれます。また、RIおよびロータリー財団が、ウェブサイト、雑誌、冊子、パンフレット、展示、その他推進資料において写真を制限なく使用できる権利も含まれます。

2021-22 クラブ会長名	会長署名	年 月 日
2021-22 ガバナー補佐名	AG署名	年 月 日

この欄は地区ロータリー財団委員長がご記入ください。

地区補助金番号 _____

個別プロジェクト報告書番号 _____

予算額と決算額の差額はクラブ拠出金で調整してください。差額が大きすぎる場合は補助金を一部返還して頂く場合があります。

報告書には領収書を添付してください

地区補助金申請書

財団受付番号 2021- _____

国際ロータリー第 2630 地区

ロータリー財団地区補助金申請書（2021-2022 年度実施事業対象）

申請クラブ名		申請月日	年 月 日
プロジェクト名			
申請事業の種類（○印）			
	奉仕事業 《・平和と紛争予防/解決 ・疾病予防と治療 ・水と衛生 ・母子の健康 ・基本的教育と識字率向上 ・経済と地域社会の発展》		
	奨学金事業		
	V T T 事業		
実施場所			
実施期間《規定・2021年7月～2022年3月》	2021 年 月 日 ～ 年 月 日		

※最終報告書提出期日 《規定・事業終了後2か月以内および最終締め切り4月30日》

適合する重点分野の具体的説明と事業全体の主旨説明

プロジェクトの具体的説明

--

ロータリアンの参加状況

クラブ会員数	名中	名の参加予定
--------	----	--------

参加の方法と具体的な活動

--

プロジェクトがロータリーであることの具体的な広報方法

--

協力団体	有・無	団体名称	
------	-----	------	--

プロジェクト予算

補助金限度額算出基準 2018-19年度の一人当たりの年次寄付額			_____ \$
（ 予定クラブ拠出金に対する補助金限度額			\$ ）
収入明細			
クラブ拠出金	円		US\$ (@110)
申請補助金	円		US\$ (@110)
合 計	円		US\$ (@110)

支出明細（見積書など添付）			
費用の項目	内容・見積書No.	金額 円	金額 US\$ (@110)
1.		円	US\$ (@110)
2.			
3.			
4.			
5.			
6.			
7.			
8.			
プロジェクトの予算合計			

プロジェクト責任者

氏名		役職	
電話（携帯）		メールアドレス	

サブ責任者

氏名		役職	
電話（携帯）		メールアドレス	

クラブ承認署名

クラブは地区ロータリー財団委員会に対し、プロジェクトの活動内容に責任を持ち、報告する義務があります。申請者の署名は、提唱者がその責任を理解し、了承したことを確認することになります。また提唱者の署名は、本申請書の全ての記載事項が真実であり、正確であることを確認することになります。

2020-21 クラブ会長名		会長署名	年 月 日
2020-21 ガバナー補佐名		A G 署名	年 月 日

地区使用欄

第2630地区ロータリー財団委員長承認

地区補助金 US _____ ドルを使用することを承認いたします。

第2630地区ロータリー財団委員長 平井 義之

署名 _____ 年 月 日 _____

個別プロジェクト報告書

本書式に漏れなく記入の上、地区ロータリー財団委員長にご返送ください(直接ロータリー財団に送らないでください)。

ロータリー・クラブ: _____

プロジェクト名: _____

中間報告書 最終報告書

プロジェクトの概要

1. このプロジェクトで何が、いつ、どこで実施されたかを簡潔に説明してください。これが中間報告書である場合には、今後実行すべき活動内容も説明してください。

2. このプロジェクトの恩恵を受けた人々の数はどのぐらいですか。 _____

3. プロジェクトの受益者は誰ですか、またどのような恩恵を受けましたか。プロジェクトはどのような人道的ニーズに応えましたか。

4. このプロジェクトに何名のロータリアンが参加しましたか。 _____

5. これらのロータリアンは何を行いましたか。プロジェクトへの財政的支援を除き、その具体例を少なくとも2つ挙げてください。

6. 協力団体が関与している場合、その団体の役割は何でしたか。

財務報告 (地区はすべての支出の領収書を少なくとも5年間保管しなければなりません) ※円でご記載下さい。

7. 収入

収入源	予算額	決算額
1. 地区から受領した地区補助金の資金		
2. クラブ拠出金		
3. その他の資金(具体的に記入)		
プロジェクトのための収入合計額		

8. 支出 (具体的に書きください。必要に応じて行を追加してください。必ず領収書を添付下さい。)

支出項目	業者名	予算額	決算額
1.			
2.			
3.			
4.			
5.			
6.			
7.			
8.			
9.			
10.			
プロジェクト支出合計額			

証明の署名

本報告書に署名することで、私の知る限りにおいて、地区補助金の資金が管理委員会の指針に準拠し認められた項目にのみ使用され、ここに記されたすべての情報が事実であり、かつ正確であることを認めます。補助金資金のすべての支出の領収書を、地区に提出しました。また、私は、本報告書に関連して提出した写真はすべて、RI の所有物となり、返送されないことも理解しています。私は著作権を含めこの写真のすべての権利を所有することを認め、時と場所を問わず、いかなる方法、また現在知られている媒体または後に作成される媒体において、使用料なしで写真を使用する取消不能な許可を RI とロータリー財団に与えます。これには、必要であれば、RI の独自の裁量により写真に修正を加える権利が含まれます。また、RI およびロータリー財団が、ウェブサイト、雑誌、冊子、パンフレット、展示、その他の推進資料において写真を制限なく使用できる権利も含まれます。

2021-22 クラブ会長名		会長署名	年 月 日
2021-22 ガバナー補佐名		AG 署名	年 月 日

この欄は地区ロータリー財団委員長がご記入ください。

地区補助金番号 _____

個別プロジェクト報告書番号 _____

ロータリー財団 地区奨学生募集要項

第 2630 地区奨学生（地区補助金の奨学金）

2021 年 7 月～2022 年 6 月の期間の留学を対象とする

目的

国際ロータリーのロータリー財団地区補助金の主要な目的は、グローバル補助金に該当しない奨学生に対して、旧国際親善奨学生の理念に沿って、海外の大学あるいは大学院での就学に地区補助金から奨学金として金銭的な支援を提供し、有為の人材に勉学の機会を提供することを目的とする。

奨学金の金額および募集人員

1. 海外の大学あるいは大学院での 1 年間の修学（研究分野・留学先を問わない）に、米貨 10,000 ドル以上の支給を予定。※1
2. 募集人員 若干名

資格条件と応募条件

1. 資格条件
 - ・ロータリアン、またその実子、継子、孫、兄弟姉妹、配偶者およびその他の扶養者、およびロータリー職員でないこと。また、申請者に資格を与える目的のためロータリークラブを退会した者が存在する場合は、その事によって申請資格を失う
 - ・申請時に国際ロータリー第 2630 地区内に本人の本籍、居住地、通学先または勤務地のいずれかがあること。
 - ・海外の大学または大学院に合格していること、または本奨学金支給の内定後、直ちに合格すること。
 - ・優秀な学業成績を持つとともに、親善使節としての素質を持っていること。
 - ・指導力、独創力に富み、順応性、思慮分別を持ち、目的に対し誠実であること。
 - ・留学する国の言語に熟達し、講義を理解し報告書を作成することができること。
 - ・留学する国の国情や国民性に関心と理解を持つと同時に、日本の歴史や地理、文化、時事問題に通暁していること。
 - ・留学に耐える体力を有すること。
 - ・日本国籍あるいは永住権を有すること。
2. 応募条件
 - ・選考試験合格内定後、地区の主催するオリエンテーションに出席すること。
 - ・留学前、留学中、帰国後を通じて、地区事務所との連絡を維持すること。

奨学金の条件

1. 海外の大学あるいは大学院に合格していること。
2. 本奨学金は様々な分野における勉学の機会を提供することを目的とし、奨学生は勉強の傍ら、“親善使節”としての任務も遂行すること。
3. 奨学金は修学を援助する。
4. 奨学期間中は勉学に努めると共に、ロータリークラブ、家庭、事業所などを訪問して、修学地域の諸事情の理解につとめること。
5. 修学期間修了後には速やかに帰国し、地区内ロータリークラブに修学の成果を報告すること。
6. 奨学金は米貨 10,000 ドル(予定) (旅費を含む)。※1
7. 奨学期間中は所定の報告を定時に提出すること (スポンサークラブ)
8. 学業成績不良、不良行為の立証、報告の不提出、地区ロータリー財団部門委員会の承諾を得ずに学業課程の変更、中途退学、修学地域の言語に対する知識の不足、“親善使節”としての任務不行使、その他奨学金の条件を充たせなくなる事態が発生した場合、奨学金は打切られる。
9. 修学は 2021 年の新学期から開始しなければならない。

※1 地区補助金の応募状況等により加算増額されることがあります。

申請・応募の期間と方法

1. この募集要項を読んで募集要項に沿った資格が有り、奨学金申請の意志があったら 2021-2022 年度奨学金応募用紙を推薦ロータリークラブからお受け取り下さい。
2. 推薦クラブが決ったら、応募申込書にもれなく記入し、他の必要書類を添付の上、**2020 年 12 月 18 日 (金)** までに推薦ロータリークラブへ提出して下さい。
(郵送の場合は、当日必着のこと)
(推薦クラブは、応募者の書類・地区審査・留学・帰国後等々あらゆるお世話をするようになります)

選考期日および方法 (予定)

選考期日は各受験者に直接連絡します。

クラブ選考	2021 年 1 月	各提出先ロータリークラブによる書類審査と面接試験 (地区への提出期限は 1 月 31 日までとします。)
地区選考	2021 年 3 月	地区選考委員による面接試験
選考発表	2021 年 4 月	合格内定後、地区主催のオリエンテーション受講
オリエンテーション	2021 年 5 月を予定	

提出書類

★書類は全てA 4 サイズを使用すること。

大学卒業成績表・卒業証明書等 A 4 サイズ以外のものは縮小・拡大し添付して下さい。

1. 国際ロータリー第 2630 地区 2020-2021 年度ロータリー財団奨学金プログラム応募申込書
2. 修学先の大学及び大学院の入学許可を証明するもの。
ただし、第一志望の進学先の入学許可証が書類等提出締切日までに手元にない場合は、地区面接選考時まで提出すれば可とする。その場合、その旨を記載した理由書を他の提出書類と共に提出すること。
3. 推薦状（出身校ゼミ教授又は、上司等、職業責任者）
4. 小論文（下記の課題について、日本語 800 字以内、A 4 版用紙に横書きで 1 枚に収めること） 課題『なぜロータリー財団の奨学金プログラムに応募したのか』

追記

添付書類の右上には、必ず氏名を書いて下さい。

★申請書類は一切返却いたしません。

★なお、推薦クラブからの書類の地区への提出期限は、2021年1月31日です。

終わりに

第 2630 地区ロータリー財団地区補助金奨学生募集についての質問や不明な点については、下記地区事務所 E-mail アドレスまでお問い合わせください。電話でのお問い合わせはご遠慮下さい。

書類提出先（あなたを推薦してくれる地区内ロータリークラブ）については、2630 地区ホームページ（URL <https://www.rid2630.jp>）をご参照ください。

問合せ先

国際ロータリー第 2630 地区（岐阜県・三重県）地区事務所
〒500-8212 岐阜市日野南 3 丁目 5-16
T E L : 058-248-9724 F A X : 058-248-9725
E-mail: branch@rid2630.org

国際ロータリーに関する情報は、下記のホームページをご参照ください。
(<http://www.rotary.org>)

「グローバル補助金」支給規定

クラブ提唱のグローバル補助金事業への地区活動資金（DDF）からの補助金支給は、3年前の年次基金への寄付額に応じて、支給限度額（上限）を決定します。補助金支給金額の算出基準は以下の通りです。なお1事業当たりの地区活動資金（DDF）からの補助金の上限額は、30,000ドルとなります。

1. グローバル補助金を申請する際には、クラブからの現金拠出は、原則500ドル以上とします。

※複数クラブでの事業の場合は、主となる1クラブは、1,000ドル以上を拠出してください。

2. 3年前の年次基金の一人当たりの平均寄付額が150ドル以上のクラブには、クラブ拠出金の5倍まで支給します。
3. 3年前の年次基金の一人当たりの平均寄付額が0.01ドルから149.99ドルのクラブには、クラブ拠出金の2倍まで支給します。
4. 3年前の年次基金の一人当たりの平均寄付額が0ドルのクラブはグローバル補助金への参加資格はありません。ただし、クラブが拠出金を全額負担してグローバル補助金を申請する場合は、この限りではありません。

注意事項

- クラブ現金拠出金に対するWFの上乗せは、2020年7月1日からTRFの規定変更により廃止されました。
- 3年前の年次基金の一人当たりの平均寄付額は、ロータリー財団が発表する当該年度が終了する6月末時点の月次報告書（MCR）の金額を適用します。
- グローバル補助金を申請しようとするクラブはクラブ拠出金の他にTRFへの審査手数料としてクラブ拠出金の5%が別途必要となります。
(例：クラブ拠出金が1,000ドルの場合、別途50ドルの支出が必要)
- グローバル補助金を活用した奨学金のもこの規定第1項及び第4項を準用します。

グローバル補助金の計算例

＜グローバル補助金事業＞※地区活動資金（DDF）限度額 30,000 ドル
 ※複数クラブでの事業の場合、主となる1クラブは1,000 ドル以上のクラブ拠出金が必要

3年前の年次基金の一人当たりの平均寄付額が、0.01 ドルから 149.99 ドルのクラブ

①クラブ拠出金となる現金額	②支給地区活動資金（DDF）①×2	③DDF に対する WF②同額	④合計 ①+②+③
500 ドル	1,000 ドル	1,000 ドル	2,500 ドル
1,000 ドル	2,000 ドル	2,000 ドル	5,000 ドル
2,000 ドル	4,000 ドル	4,000 ドル	10,000 ドル
3,000 ドル	6,000 ドル	6,000 ドル	15,000 ドル
5,000 ドル	10,000 ドル	10,000 ドル	25,000 ドル

3年前の年次基金の一人当たりの平均寄付額が 150 ドル以上のクラブ

①クラブ拠出金となる現金額	②支給地区活動資金（DDF）①×5	③DDF に対する WF②同額	④合計 ①+②+③
500 ドル	2,500 ドル	2,500 ドル	5,500 ドル
1,000 ドル	5,000 ドル	5,000 ドル	11,000 ドル
2,000 ドル	10,000 ドル	10,000 ドル	22,000 ドル
3,000 ドル	15,000 ドル	15,000 ドル	33,000 ドル
5,000 ドル	25,000 ドル	25,000 ドル	55,000 ドル
6,000 ドル	※DDF 限度額 30,000 ドル	30,000 ドル	66,000 ドル

＜グローバル補助金による奨学金の計算例＞※地区活動資金（DDF）限度額 30,000 ドル

①クラブ拠出金となる現金額	②支給地区活動資金（DDF）①×30	③DDF に対する WF②同額	④合計 ①+②+③
500 ドル	15,000 ドル	15,000 ドル	30,500 ドル
1,000 ドル	※DDF 限度額 30,000 ドル	30,000 ドル	61,000 ドル

注) どの場合の申請でも、①クラブ拠出金となる現金額には TRF への手数料 5%が別途必要となります。
 ※クラブ現金拠出金に対する WF の上乗せは、2020 年 7 月 1 日から TRF の規定変更により廃止されました。

グローバル補助金申請用地区財団活動資金使用申請書

RI 2630 地区 地区財団活動資金使用申請書(人道的活動)

※グローバル補助金をオンラインで正式に申請をする前に、地区に仮の申請をして頂く申請書です。

申請日 年 月 日

6つの重点分野	<input type="checkbox"/> 平和と紛争予防/紛争解決	<input type="checkbox"/> 母子の健康
	<input type="checkbox"/> 疾病予防と治療	<input type="checkbox"/> 基礎的教育と識字率向上
	<input type="checkbox"/> 水と衛生	<input type="checkbox"/> 経済と地域社会の発展

申請者の情報	
クラブ名	ロータリークラブ
担当者名(役職名)	(役職)
連絡先	電話: Email:

プロジェクトの情報	
プロジェクト名	
プロジェクトの実施地	国名 地区 クラブ
実施国の代表提唱者	
地域社会のニーズ	
プロジェクトの概要	
実施期間	(開始) 年 月 日 ~ (終了) 年 月 日
成果の持続と測定可能性	

プロジェクトの予算	
支出項目	金額(ドル)
合計(ドル)	

プロジェクトの予算調達(両国の提唱クラブには◎をつけて下さい)					
クラブ/地区/国名/その他	現金(ドル)	DDF(ドル)	追加金※	国際財団活動資金申請額	
実施国					
援助国					
合計(ドル)					
総合計(ドル)					

クラブの承認	
クラブ名	ロータリークラブ
クラブ会長名	署名
クラブ会長エレクト名	署名

地区の承認					
ガバナー		署名		日付	
財団委員長		署名		日付	
補助金小委員長		署名		日付	

※グローバル補助金プロジェクトのために財団に現金拠出金を送金する場合、この資金の手続きにかかる費用をまかなうために 5 %の追加金が適用されます。この追加金は、クラブと地区のポール・ハリス・フェロー認証ポイントの対象となります。

グローバル補助金奨学生募集要項

国際ロータリー第2630地区ロータリー財団グローバル補助金奨学生の募集を下記要項に従って行います。内容を確認し応募してください。

目的

国際ロータリーのロータリー財団グローバル補助金は、ロータリーの使命を達成するために、専攻分野とキャリア目標がロータリーの重点分野のいずれかに該当している大学院レベルの学生を支援するものです。奨学金として金銭的な支援を提供し、有為の人材に勉学の機会を提供することを目的とします。

概要

第2630地区グローバル補助金奨学生の制度は、グローバル補助金を利用し、以下の目的を達成するために、国際ロータリー第2630地区が独自に募集、選考、TRFへの推薦を行います。

- (1) 奨学生が海外留学を通じ国際理解と親善を増進しその国際経験と視野を持って、ロータリーが掲げる6つの重点分野に必要な知識と学力を身に付け、社会人として成長、貢献をして行くこと

<6つの重点分野>

- 平和と紛争予防／紛争解決
- 水と衛生
- 基本的教育と識字率向上
- 疾病予防と治療
- 母子の健康
- 経済と地域社会の発展

※6つの重点分野に関しては、国際ロータリーのホームページより下記の資料をご覧ください。

「ロータリーの重点分野ガイド」

<https://www.rotary.org/myrotary/ja/document/rotary%E2%80%99s-areas-focus>

「重点分野の基本方針」

<https://www.rotary.org/myrotary/ja/document/areas-focus-policy-statements>

- (2) ロータリーのネットワークを十分に活用し、ロータリークラブと地域社会と積極的に交流することによって、派遣国と受け入れ国との懸け橋となること

奨学金の金額および募集人員

- (1) 海外の大学院修士課程において、6つの重点分野に該当する専攻課程での1～4年間の修学の授業料、部屋代と食費、奨学期間中の諸費用のために、米貨30,500ドル以上の支給を予定
- (2) 募集人員 若干名

応募資格

- (1) 上記6つの重点分野のいずれかに該当する分野でキャリアを築くことを目標とすること。したがって希望する大学院での教育目標もこれに関連する分野になります。
- (2) 応募までに大学課程を修了している者、または終了することが見込まれる者。性別、未婚、既婚、年齢は問いませんが、今後、ロータリーでの活躍が望める者としてします。
- (3) 受け入れ国の言語に堪能であること。授業で使用する言語が英語のみの場合であっても、受け入れ国クラブとの交流を図るため、現地の言語が堪能である必要があります。
- (4) 海外の大学院修士課程レベル以上の教育機関で学ぶこと。
応募者は、すでに合格しているか、ロータリー財団本部への申請書提出までに合格が決定する必要があります。条件付き合格(語学力や大学卒業など)の場合には、無条件合格にする必要があります。
- (5) 受け入れ地区内のロータリークラブや地区の活動に参加できるように、承認された受け入れ地区内の教育機関の近隣に住むこと。
- (6) 指導力、独創力に富み、順応性、思慮分別を持ち、目的に対し誠実であること。
留学に耐える体力を有すること。
- (7) 次のいずれかに該当すること。
 - ① 応募時に、国際ロータリー第2360地区内に住民登録、または帰省先があること。
 - ② 応募時に、国際ロータリー第2360地区内に所在する大学または大学院に在学するか、又は、職場に勤務していること。

- (8) 次の者は応募できません。
- ①ロータリークラブの会員、及びロータリークラブ事務局の職員。これらの者の直系親族（祖父母、両親、子、孫）および配偶者。入籍または未入籍の養子。その他ロータリークラブの関係者。応募資格を得る意図でロータリークラブを脱会した者およびその関連の者。
 - ②他の地区のロータリー財団補助金奨学金に応募している者
 - ③既に希望する教育機関に在籍している者

奨学金給付の条件

- (1) ロータリー財団の6つの重点分野に該当する海外の大学院修士課程の専攻課程に、財団本部へオンライン申請する(出発の5-6カ月前)までに合格すること。
- (2) 奨学金の授与にあたって、「国際ロータリー第2630地区奨学生同意書」に同意すること。
- (3) 本奨学金は6つの重点分野の解決に寄与することを目的とし、奨学生は学業と共に、“親善使節”としての任務も遂行すること。
- (4) 留学期間中は勉学に努めると共に、ロータリークラブ、家庭、事業所などを訪問して、留学国の諸事情の理解につとめること。
- (5) 奨学期間終了後速やかに必ず帰国し、地区内ロータリークラブに留学の成果を報告すること。
- (6) 留学中及び留学終了時には、所定の報告書を決められた時期までに、必ず提出すること。
- (7) 学業成績不良、不良行為の立証、報告の不提出、ロータリー財団の承諾を得ずに学業課程の変更、中途退学、留学国の語学に対する知識の不足、“親善使節”としての任務を怠る等、奨学金の条件を充たせなくなる様な事態が発生した場合、奨学金の打ち切り、もしくは返還となります。
- (8) 留学は新学期から開始しなければなりません。
- (9) 奨学期間終了、または帰国後は、必ず推薦ロータリークラブ・受け入れロータリークラブとの交流を保ち、また、要請により国際ロータリー第2630地区、および地区内ロータリークラブに留学の成果を報告すること。
- (10) 国際ロータリー第2630地区ロータリー財団学友会に必ず加入し交流を深めること。転居等に際しては、学友会へ連絡先変更の届け出をすること。
- (11) 留学先は、ロータリークラブのある国、地域に限られます。
- (12) 応募には、ロータリークラブからの推薦が必要です。

応募方法

- (1) 応募には、応募者の住民登録地（或いは実家の所在地、在学する大学又は大学院の所在地、勤務先の所在地のいずれか）にあるロータリークラブ（或いはその近隣のロータリークラブ）からの推薦状が必要です。応募申込書及びその他の提出書類を、推薦ロータリークラブへ提出します。

※必ず提出前にロータリークラブへ連絡し、クラブ推薦の承諾を得てください。ロータリークラブでは、推薦について事前審査や面接がありますので、ギリギリの依頼では間に合わない場合があります。
- (2) 応募は、推薦ロータリークラブを経由し国際ロータリー第2630地区ロータリー財団委員会に行います。直接の応募は受け付けません。

応募の期間

応募は随時受け付けます。ただし、手続きには期間を要する為に、国際ロータリー第2630地区ロータリー財団委員会への応募は、留学6か月前までとします。

上記の期限は、推薦ロータリークラブから、応募者の提出書類およびクラブの推薦状が、国際ロータリー第2630地区ロータリー財団委員会へ届く期限になります。(必着)

提出書類

★書類は全てA4サイズを使用すること。

大学卒業成績表・卒業証明書等A4サイズ以外のものは縮小・拡大し添付して下さい。

- (1) 国際ロータリー第2630地区ロータリー財団奨学金生応募申込書
- (2) グローバル補助金奨学金候補者のための申請書テンプレート（和文・英文）
テンプレートは推薦者が出られた場合にメールでお送りいたします。

- (3) 写真付き履歴書 和文・英文
- (4) 大学の卒業証明書
- (5) 修学先の大学及び大学院の入学許可を証明するもの
ただし、第一志望の進学先の入学許可証が書類等提出締め切り日までに手元にない場合は、地区面接選考時まで提出すれば可とします。その場合、その旨を記載した理由書を他の提出書類と共に提出すること。
- (6) 推薦状（出身校ゼミ教授又は、雇用主/上司等、職業責任者）
推薦者の名刺を添付すること。
- (7) 小論文（下記の課題について、日本語 800 字以内、A 4 版用紙に横書きで 1 枚に収めること）
課題『なぜロータリー財団の奨学金プログラムに応募したのか』
- (8) 応募者が、応募時に国際ロータリー第 2630 地区内に住民登録、または帰省先があること。
応募時に、国際ロータリー第 2630 地区内に所在する大学または大学院に在学するか、又は、職場に勤務していることを証明するもの。

★添付書類の右上には、必ず氏名を書いて下さい。

★申請書類は一切返却いたしません。

選考期日および方法（予定）

- (1) 第 1 次選考
推薦ロータリークラブによる第 1 次選考(面接)を行います。場所、時間等は、推薦クラブより連絡します。面接試験に参加するための費用負担はありません。
- (2) 第 2 次選考(最終選考) 第 1 次選考(面接)で選考されたものに対して、且つ大学院の入学許可が得られた者に国際ロータリー第 2630 地区ロータリー財団部門の最終面接を行い、すべて整ったことを確認した上で最終決定します。選考期日は応募者に直接連絡します。

合格から派遣まで

- (1) 国際ロータリー第 2630 地区ロータリー財団部門は、最終選考で合格した者を受け入れ地区のロータリークラブに受け入れを依頼します。
- (2) 受け入れクラブの受諾が確認でき、且つ大学院の入学許可が得られた者に、すべて整ったことを確認した上で、応募者自身が直ちにロータリー財団本部にオンラインで申請書を提出します。その際に、入学許可を証明する書類(電子ファイル)を添付します。オンライン申請開始後、進学先を変更することはできません。
- (3) 留学 3 ヶ月前頃に承認があり、奨学金の受給が決定します。

終わりに

第 2630 地区ロータリー財団地区補助金奨学生募集についての質問や不明な点については、下記地区事務所 E-mail アドレスまでお問い合わせください。電話でのお問い合わせはご遠慮下さい。

書類提出先（あなたを推薦してくれる地区内ロータリークラブ）については、第 2630 地区ホームページ（URL <https://www.rid2630.jp>）をご参照ください。

問い合わせ先

国際ロータリー第 2630 地区（岐阜県・三重県）地区事務所
〒500-8212 岐阜市日野南 3 丁目 5-16
TEL : 058-248-9724 FAX : 058-248-9725
E-mail : branch@rid2630.org

国際ロータリーに関する情報は、下記のホームページをご参照ください。
(<http://www.rotary.org>)

グローバル補助金奨学生へのクラブ対応

国際ロータリー（以下RIと標記）第2630地区内のクラブに、グローバル補助金奨学生の応募があった場合下記手順にてご対応ください。

1. グローバル補助金奨学生について

- (1) RIのロータリー財団グローバル補助金は、ロータリーの使命を達成するために、専攻分野とキャリア目標がロータリーの重点分野のいずれかに該当している大学院レベルの学生を支援するものです。奨学金として金銭的な支援を提供し、有為の人材に勉学の機会を提供することを目的とします。
- (2) グローバル補助金奨学生は応募から選考、推薦をします。
- (3) ロータリー財団の6つの重点の1つあるいは複数に関連する大学院レベルの研究を行おうとするものを支援します。（下記6つの重点分野を参考に）
- (4) 1～4年間の研究であること。
- (5) 派遣地区から海外の受け入れ地区に留学する奨学生であること。
- (6) 奨学金はクラブ拠出金（500ドル以上）+DDF（支給規定参照）+WF（DDFと同額）の合計金額。（2020年11月現在）
- (7) グローバル補助金奨学生を成功させるための要素
グローバル補助金は、仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための大学院留学の奨学金を支援します。ロータリー財団は、グローバル補助金による奨学金の申請書の審査をする際、以下6つの重点分野への関連する点を考慮しますので参考にして下さい。

※6つの重点分野

①平和と紛争予防/紛争解決

- a. 平和と紛争予防/紛争解決の分野における申請者のそれまでの職歴及び活動歴。
- b. 平和と紛争予防/紛争解決に関連する履修過程。
望ましい履修課程の例として、紛争予防/紛争解決、平和と正義の研究、平和と紛争を専門に扱う国際関係の法律など。
平和と紛争問題に直接章典を当てた履修課程である場合は、審査の際に有利。
一般的な国際関係や法律は、審査の際に有利とはみなされません。
- c. 平和と紛争予防/紛争解決に関連した、申請者の将来のキャリア計画。

②疾病予防と治療

- a. 疾病予防と治療の分野における申請者のそれまでの職歴および活動歴
- b. 疾病予防と治療に関する履修課程（例：公共保険、看護学と医学の修士・博士号取得等）。
- c. 疾病予防と治療に関連した、申請者の将来のキャリア計画。

③水と衛生

- a. 水と衛生の分野における申請者のそれまでの職歴および活動歴。
- b. 水と衛生に関連する履修課程（例：水化学/水工学、水管理、環境科学、疫学、寄生虫学等）。
- c. 水と衛生に関連した、申請書の将来のキャリア計画。

- ④母子の健康
 - a. 母子の健康の分野における申請者のそれまでの職歴と活動歴。
 - b. 母子の健康に関連する履修課程（例：疫学、栄養学、グローバルヘルス、公立保険、保健推進、看護学・医学の学位課程等）。
 - c. 母子の健康に関連した、申請者の将来のキャリア計画。
- ⑤基本的教育と識字率向上
 - a. 基本的教育識字率向上の分野における申請者のそれまでの職歴および活動歴。
 - b. 基本的教育と識字率向上に牽連する履修課程（例：教育、識字、カリキュラム開発、特別教育、学校教育等）。
 - c. 基本的教育と識字率向上に関連した、申請者の将来のキャリア計画。
- ⑥経済と地域社会の発展
 - a. 経済と社会学の発展の分野における申請者のそれまでの職歴及び活動歴。
申請者は、自分の仕事が貧しい人々や十分な支援を受け入れていない人々の経済的福祉にどのように貢献したかを明確に示すことが求められます。
 - b. 経済と地域社会の発展に関連する履修課程、
望ましい履修課程の例として、経済と地域社会の発展に焦点を当てた社会学のコース、ソーシャルビジネスやマイクロクレジット（小口融資）を専門とする経営学位等。
草の根の経済発展戦略に焦点を当てたものや、貧しい地域や支援の行き届いていない地域の経済問題に焦点を当てたものは審査の際に有利となります。
 - c. 経済と地域社会の開発に関連した、申請者の将来のキャリア計画。

2. グローバル補助金申請の流れ

申請手順（オンライン申請します。）

財団のホームページ www.rotary.org/ja/grants より「My Rotary」を選択



ログイン/アカウント登録→「行動する」→補助金申請のためのツールを選択



グローバル補助金を選択→開始→最初のステップを選択→目的で奨学金を選択
(以降奨学生希望者本人が内容を入力)



重点分野選択→参加者入力→予算入力→調達資金入力



地区ロータリー財団委員長/地区ガバナーの承認→承認

奨学生希望者本人がクラブへグローバル補助金についてお尋ねをしてきた場合、クラブは次の手順で進めて下さい：

(1) 次を確認して下さい

- ① 応募者の住民登録地（或いは実家の所在地、在学する大学又は大学院の所在地、勤務先の所在地のいずれか）
- ② 専門分野が以下の6つの重点項目に当てはまりますか
 - ・ 平和と紛争予防／紛争解決
 - ・ 疾病予防と治療
 - ・ 水と衛生
 - ・ 母子の健康
 - ・ 基本的教育と識字率向上
 - ・ 経済と地域社会の発展

③行きたい大学の入学許可書を得られていますか
※条件付きの入学許可書は認められません。（例：入学前に語学学校に行かなくてはならない等）

④現地へ出発するまでに、4-5 か月以上の猶予があるかどうかご確認ください。

オンライン上のRIへの申請書提出期限（申請完了期限・厳守）

9月、10月出発の学生：6月30日

その他の月に出発の学生：出発の90日前

※オンラインでの申請書提出完了までに1-7までを行う必要があります。

時間に余裕があるかをご判断下さい。上記提出期限は厳守となっております。

1 クラブ面接

2 地区面接

3 地区面接合格後、地区ロータリー財団委員会から、留学先国の地区へホストクラブ（実施国）の選定をお願いし、次を手配します。

a.代表連絡者 1名

b.本補助金の委員 2名

4 地区が③をしている間にクラブは、下記3名をクラブから選出してください。

a.代表連絡者 1名

b.本補助金の委員 2名

※上記3名は、My Rotary に登録されていることを確認。

5 申請書の作成（オンラインで）本人及びクラブ

英語で作成すること。奨学金希望者に英訳をお願いします。

6 申請書作成終了後、次の方々の承認（オンラインにて）が必要となります。

a.ガバナー（実施国・援助国）

b.地区ロータリー財団委員長（実施国・援助国）

c.代表連絡者（実施国・援助国）

7 法的同意

援助国・実施国のクラブ会長の同意（オンラインにて）

(2) 次の書類を揃える必要があると本人に伝えます。クラブ面接までに揃え、クラブ面接合格後、クラブから地区事務所に送って下さい。

①別紙Iの申請書（グローバル補助金奨学金候補者のための申請書テンプレート）

※予算については、根拠となる書類を添付して下さい。

学校からのFinancial Summary等 和文・英文

②写真付きの履歴書 和文・英文

③大学の卒業証明書

④居住地、勤務地もしくは3親等以内の親族居住地が、岐阜・三重にあるという証明書

⑤大学の入学許可書

⑥大学の教授もしくは勤務先の上司の推薦状（英文および和文）

※大学若しくは勤務先のレターヘッドを使用して下さい。

※必ず推薦者の肩書き、勤務先の住所、電話番号、メールアドレス等も記載されていることを確認して下さい。

(3) 次をする必要もあることを伝えます

クラブの面接および第2630地区の面接に合格後、オンラインで申請手続きをする必要があります。クラブが記入する箇所の英訳をお願いする場合もある旨伝えます。

(4) クラブの面接日を早急に決めると同時に第2630地区のロータリー財団部門委員長宛に、グローバル補助金奨学金の申請をしたい旨を知らせます。

(5) クラブの推薦状と共に、2.の書類をロータリー財団部門委員会へ提出します。

(6) 地区から面接日時および場所をご連絡致します。

(7) 推薦決定通知とともに、DDFから支援できる金額をお伝えします。

メールにてお送りします第2630地区地区財団活動資金使用申請書に記載の上、

- 速やかにロータリー財団部門委員会へご提出ください。
- (8) 地区の面接合格後、速やかにオンライン申請を行ってください。
英文での申請が一番早道になりますので、本人に英訳をして頂いて、必要事項を記載すること。
- (9) オンライン申請をする前に必ず次を行ってください：
- ①申請者がマイロータリーに登録します
 - ②クラブより3名のロータリアンのお名前（代表連絡者1名・委員会委員2名）が必要となります。3名ともマイロータリーに登録されていることが原則となります。
※R1からの連絡は、3名の方のメールアドレスに届きます。
メールを、毎日ご確認を頂ける方を選出してください。
 - ③すべての項目に記載が済みましたら、ロータリー財団部門委員会までご連絡下さい。
ロータリー財団部門委員長およびガバナーの承認、及び実施国側のロータリークラブの代表連絡者並びにロータリー財団委員長の承認、そして実施国側クラブ会長の法的同意を得て頂く手続きをし、R1に正式に申請が完了します。
- (10) その後、R1のロータリー財団より結果が届きます。いつ来るかわかりません。連絡先となった方は、毎日、メールを確認するようにして下さい。
尚、グローバル補助金奨学生、地区補助金奨学生募集についての質問や不明な点については、地区事務所へメールでお尋ね下さい。後日ロータリー財団委員会よりお返事を致します。

クラブの参加資格認定:覚書(MOU)

ロータリー財団

1. クラブの参加資格
2. クラブ役員の責務
3. 財務管理計画
4. 銀行口座に関する要件
5. 補助金資金の使用に関する報告
6. 書類の保管
7. 補助金資金の不正使用に関する報告

1. クラブの参加資格

クラブは、ロータリー財団のグローバル補助金とパッケージ・グラントの活用にあたって、ロータリー財団(以下「財団」)から提供されるこの覚書(MOU)に記載された財務と資金管理の要件を遂行すること、および、毎年最低1名のクラブ会員を地区主催の補助金管理セミナーに出席させることに同意しなければならない。地区は、クラブの参加資格として追加の要件を定めたり、地区補助金の活用についてもクラブの参加資格認定を義務づけることができる。これらの条件をすべて満たすことにより、クラブの参加資格が認定され、ロータリー財団補助金プログラムにクラブが参加することが認められる。

- A. 参加資格条件がすべて満たされた場合には、1ロータリー年度にわたり、クラブの補助金への参加資格が認められる。
- B. クラブが認定状況を維持するには、この覚書(MOU)、地区が定めた追加要件、その他該当するすべてのロータリー財団方針を順守しなければならない。
- C. 資金の管理を誰が行ったとしても、クラブが提唱した補助金資金の使用に対しては、クラブが責任を負う。
- D. 以下のような補助金資金の不正使用ならびに不適切な管理(ただしこれらに限られない)が確認された場合、クラブの参加資格が保留、あるいは取り消しとなる場合がある:
不正、偽造、会員情報の改ざん、重大な過失、また受益者の健康、福利、安全を脅かす行為、不適切な寄付、私益のための資金使用、利害対立の未開示、個人による補助金資金の独占、報告書の偽造、水増し行為、受益者からの金銭の受領、不法行為、認められていない目的での補助金資金使用。
- E. クラブは、いかなる財務監査、補助金監査、業務監査にも協力しなければならない。

2. クラブ役員の責務

クラブ役員は、クラブの参加資格認定およびロータリー財団補助金の適切な使用について主要な責任を有する。

クラブ役員の責務には以下が含まれる。

- A. クラブの資格認定手続きの遂行と管理、認定状況の維持を担当するクラブ会員を最低1名任命する。

- B. すべてのロータリー財団補助金が、資金管理の方策と適切な補助金管理の慣行に従って管理されるよう確認する。
- C. 補助金に関与するすべての人が、実際の利害の対立や、利害の対立であると認識される事態を避けるように活動するよう確認する。

3. 財務管理計画

クラブは、補助金の一貫した管理を行うために、書面で財務管理計画を作成しなければならない。

財務管理計画には、以下の手続きが含まれていなければならない。

- A. すべての領収書と補助金資金の支払いの記録を含め、標準的な会計基準に則って会計を維持する。
- B. 必要に応じて、補助金の資金を支払う。
- C. 資金の取り扱いは、複数の人で分担する。
- D. 補助金で購入した備品・設備やその他の財産の目録システムを確立し、補助金関連活動のために購入したもの、作られたもの、配布されたものの記録を付ける。
- E. 資金の換金等を含む全補助金活動が、現地の法律や規制を順守したものであることを確認する。

4. 銀行口座に関する要件

補助金資金を受け取るには、ロータリー財団の補助金資金の受領と支払いのみを目的とする口座をクラブが設けなければならない。

- A. クラブの銀行口座は以下を満たしていなければならない。
 - 1. 資金の支払いには、クラブの少なくとも2名のロータリアンが署名人となること。
 - 2. 低金利、または無金利の口座であること
- B. 利子が生じた場合には、すべて書類に記録し、承認された補助金活動に使用するか、ロータリー財団に返還しなければならない。
- C. クラブが提唱する各補助金につき、別個の口座を開設し、口座名は、補助金用であることが明らかに分かるものとすべきである。
- D. 補助金は、投資用口座に預金してはならない。これには、投資信託、譲渡性預金、債権、株の口座が含まれる(ただし、これらに限られるものではない)。
- E. ロータリー財団補助金資金の受領および使用を裏付ける銀行明細書をいつでも提示できるようにしておかなければならない。
- F. クラブは、署名人の交代に備えて、銀行口座の管理責任の引継ぎ計画書を作成し、保管しなければならない。

5. 補助金資金の使用に関する報告

クラブは、ロータリー財団のすべての報告要件に従わなければならない。補助金に関する報告を通じて、ロータリー財団は補助金の使用状況を知ることができる。このため、この報告は補助金の適切な資金管理の重要な部分である。

6. 書類の保管

クラブは、参加資格認定とロータリー財団補助金に関連する重要書類を保存するための、適切な記録管理システムをつくり、これを維持するものとする。これらの書類を保管することにより、補助金管理の透明性が保たれるとともに、監査や財務評価の準備に役立つ。

- A. 保管する必要のある書類には、以下が含まれる(ただし、以下に限られない)。

1. 銀行口座に関する情報(過去の銀行明細書を含む)。
 2. 署名入りのクラブの覚書(MOU)を含む、クラブの参加資格認定に関する書類。
 3. 計画や手続きを記載した書類。これには以下が含まれる。
 - a. 財務管理計画書
 - b. 書類の保存と管理の手続き
 - c. 銀行口座署名人の引継ぎ計画書、および銀行口座の情報と書類の保管
 4. 購入したすべてのものの領収書と請求書を含む、補助金に関連する情報
- B. クラブの記録は、クラブのロータリアンが、または地区が要請した場合は地区が、閲覧、入手できるようにしなければならない。
- C. 書類は、少なくとも5年間、もしくは国や地域の法律によってはそれ以上の期間、保管しなければならない(日本の場合、グローバル補助金奨学金に関する書類は10年間保管しなければならない)。

7. 補助金資金の不正使用に関する報告

補助金資金の不正使用や不適切な管理があった場合、またはそう疑われる場合には、クラブはこれを地区に報告しなければならない。このような報告により、補助金資金の不正使用が絶対に許されないという環境をクラブ内に作り出すことができる。

承認と同意

この覚書(MOU)は、クラブと地区の間に交わされる同意書であり、補助金活動の適切な管理と財団補助金資金の適切な管理を行うための措置をクラブが取ることを認めるものである。この文書を承認することにより、クラブは、この覚書(MOU)に記載されたすべての条件と要件に従うことに同意する。

_____ ローターリー・クラブを代表し、下記署名人は、2021-22 ローターリー年度、この覚書(MOU)に記載されたすべての条件と要件に従い、これらの要件に関してクラブの方針や手続に変更や修正があった場合には、国際ロータリー第 2630 地区に通知することに同意する。

クラブ会長	
就任年度	2021-22(浦田G)年度
氏名	
署名	
日付	

クラブ会長	
就任年度	2022-23(高橋G)年度
氏名	
署名	
日付	

ロータリー財団研修(補助金管理)セミナー資格認定アンケート

ロータリー財団研修(補助金管理)セミナーをご視聴いただき、ありがとうございます。本セミナーは補助金申請に必要な資格認定セミナーです。全5編をご視聴いただき、ご回答いただいたアンケートをメール添付で、地区とクラブの覚書(MOU)を郵送で地区事務所宛に送付いただくことにより資格認定させていただきます。ご質問がありましたら、地区事務所までご連絡ください。

提出期限：2020年12月15日(火)

送付先：第2630地区事務所<branch@rid2630.org>

〒500-8212 岐阜県岐阜市日野南3丁目5-16

クラブ名 _____

視聴者役職名 _____ 視聴者氏名 _____

1. ロータリー財団の概要はご理解いただけましたかしたか

理解できた 概ね理解できた わかりにくかった

2. 補助金の概要はご理解いただけましたかしたか。

理解できた 概ね理解できた わかりにくかった

3. 奨学金はご理解いただけましたかしたか

理解できた 概ね理解できた わかりにくかった

4. ポリオ根絶活動はご理解いただけましたかしたか。

理解できた 概ね理解できた わかりにくかった

5. クラブへのご依頼等はお理解いただけましたかしたか。

理解できた 概ね理解できた わかりにくかった

6. ご意見ご感想をお聞かせください

アンケート調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

第2630地区ロータリー財団部門員会

2020-2021年度 国際ロータリー第2630地区

ガバナー	勦田 廣喜 (高山中央RC)
ガバナーエレクト	浦田 幸一 (伊勢中央RC)
直前ガバナー	辻 正敏 (津RC)
ロータリー財団部門	カウンセラー 田山 雅敏 (上野東RC)
ロータリー財団部門	委員長 平井 義之 (松阪RC)
資金推進小委員会	委員長 本弘 路可 (津RC)
	委員長 岡野 達也 (松阪RC)
ポリオ・プラス小委員会	委員長 河地 勝彦 (多治見RC)
	委員長 国安院章良 (四日市南RC)
	委員長 林 菖蒲 (松阪山桜RC)
	委員長 加藤 浩二 (関RC)
資金管理小委員会	委員長 加瀬 久照 (津RC)
	委員長 澤田 哲郎 (多治見川`-サト`RC)
補助金小委員会	委員長 堀部 哲夫 (関RC)
地区補助金担当	副委員長 伊藤 泰載 (上野東RC)
	委員長 松永 章吾 (桑名北RC)
	委員長 野原 佳子 (岐阜淡墨RC)
	委員長 羽土 洋司 (郡上長良川RC)
グローバル補助金担当	副委員長 道家 嗣典 (岐阜加納RC)
	委員長 波多野一夫 (中津川RC)
	委員長 水谷 令子 (桑名北RC)
奨学金・学友担当	副委員長 牧戸 悦代 (伊勢度会RC)
	委員長 三輪 雄彦 (関RC)
	委員長 岡野 修治 (伊勢南RC)
職業研修チーム(VTT)担当	副委員長 伊達 敏和 (四日市西RC)
	委員長 長岡 俊輔 (高山RC)

youtube動画編集

株式会社ゴッタライド

〒500-8167 岐阜市東金宝町1-18 Avenue 2 -E

TEL : 058-212-3184 / FAX : 058-212-3185

youtube動画ナレーター

司会オフィス アンドストーリー代表 五艘 英里

〒460-0007 愛知県名古屋市中区新栄2-41-7-427

TEL : 052-768-7636 MAIL : info@andstory.jp

2020/11/16